



つる
が

tsuruga

資料編

敦賀市勢要覧 2018

資料編

Contents

自然	2
人口	3
行政機構図	4
行政	5
議会	6
財政	8
産業	10
工業	11
商業	11
農業	11
林業	12
漁業	12
土木・建築	13
保健・衛生	14
運輸	15
民生	16
電気・ガス・水道	17
教育・文化	18
消防・救急	22
主な公共施設	23
主なできごと	24
データつるが	29

◎位置と地勢

- 位置 東経136度3分20秒
北緯35度38分43秒(敦賀市役所)
- 面積 251.39km²
- ひろがり 東西約14km 南北約26km



◎地目別面積

(各年1月1日現在) (単位: ha)

年 別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
宅 地	1,208.1	1,210.6	1,212.3	1,216.4	1,218.5
田	1,204.0	1,199.3	1,196.6	1,193.2	1,191.5
畑	237.5	236.8	236.2	234.7	234.3
山 林	3,996.0	4,057.7	4,059.4	4,062.4	4,060.9
原 野	195.2	194.7	193.3	193.5	193.4
池 沼	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
雑 種 地	723.4	726.2	726.5	727.3	727.5
総 数	7,564.8	7,625.9	7,624.9	7,628.1	7,626.7

(非課税分を除く) 資料: 税務課

◎気 象

(各年12月31日現在)

年 別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
降水量 (mm)	総降水量	2,611.0	2,363.0	2,378.0	2,092.5	2,760.0
	日 最 大	150.5	104.5	85.0	99.0	152.0
気温 (°C)	平 均	15.6	15.4	15.9	16.4	15.4
	最 高	36.8	37.3	36.8	35.6	36.2
	最 低	-3.8	-1.7	-1.3	-4.8	-1.0
平均湿度 (%)	70	70	70	71	72	
積雪最大値 (cm)	41	21	64	21	58	
日照時間 (時間)	1,726.7	1,682.9	1,593.8	1,691.1	1,735.6	

資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

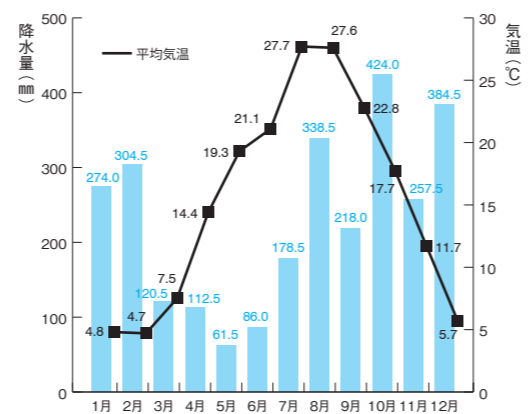
◎天気日数

(各年12月31日現在) (単位: 日)

年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
不照	46	51	67	49	53
雨 ≥1mm	164	164	180	152	185
雪	74	61	74	50	55
積雪 ≥5cm	22	8	25	5	19

資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

◎平均気温・降水量(平成29年)



資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

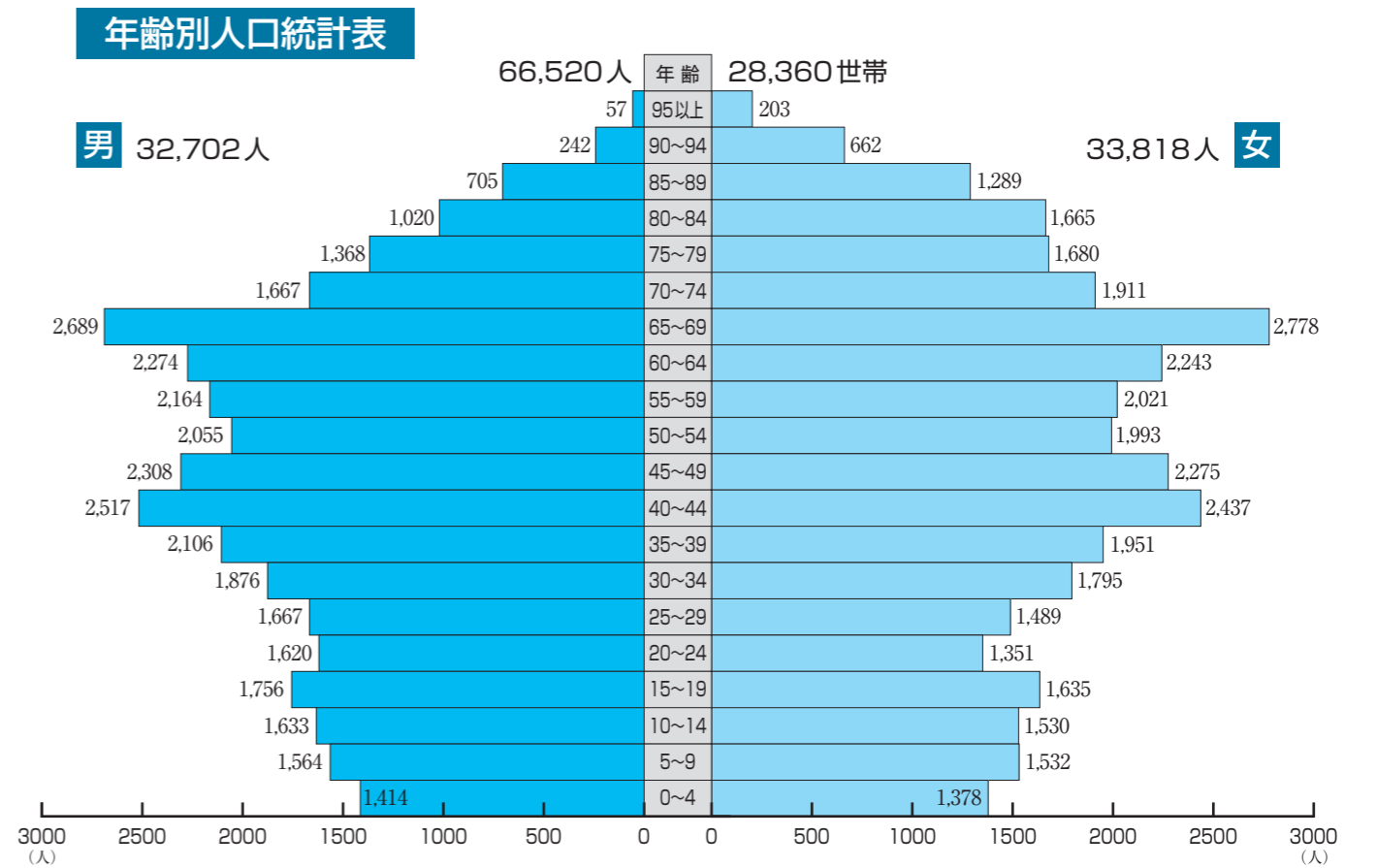
◎世帯数・人口推移

(各年9月末)

年 別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
世 帯 数	28,120	28,208	28,283	28,403	28,506	
人 口	総 数	68,246	67,845	67,305	66,914	66,560
	男	33,510	33,296	33,083	32,900	32,736
	女	34,736	34,549	34,222	34,014	33,824
65歳以上人口 (対象人口%)	16,380 (24.00)	17,026 (25.10)	17,524 (26.04)	17,797 (26.60)	18,060 (27.13)	

資料: 市民課

◎人口ピラミッド(平成29年3月31日現在)



資料: 市民課

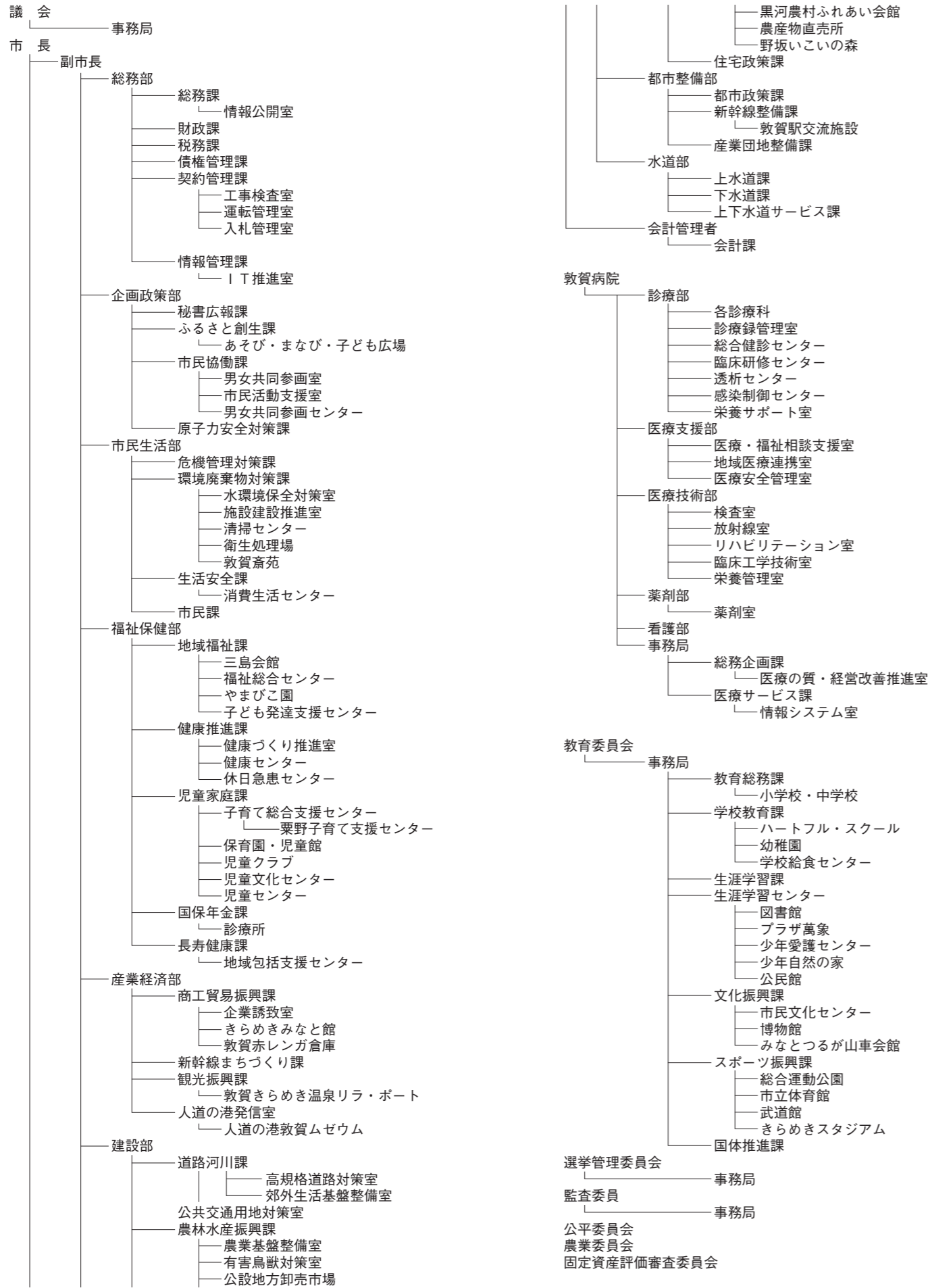
◎人口動態

(各年中) (単位: 人)

年 別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
自然動態	出 生	644	538	595	555	547
	死 亡	694	620	746	747	753
	増 減	-50	-82	-151	-192	-206
社会動態	転 入	1,777	1,702	1,701	1,785	1,769
	転 出	2,169	2,053	2,114	1,957	1,920
差 引 増 減	-392	-351	-413	-172	-151	
差 引 増 減	-442	-433	-564	-364	-357	

資料: 市民課

(平成29年4月1日施行)



(平成29年12月31日現在)

歴代市長

歴代	氏名	在職期間
初代	森 本 一 雄	昭12. 4～昭13.12
2	若 林 義 孝	昭13.12～昭15.12
3	末 原 貫一郎	昭16. 4～昭20. 4
4	田 保 仁左衛門	昭20. 4～昭21. 9
5	川 原 與 作	昭22. 4～昭26. 4
6	川 原 與 作	昭26. 4～昭30. 4
7	畑 守 三四治	昭30. 4～昭34. 4
8	畑 守 三四治	昭34. 4～昭38. 4
9	畑 守 三四治	昭38. 4～昭42. 4
10	矢 部 知恵夫	昭42. 4～昭46. 4
11	矢 部 知恵夫	昭46. 4～昭50. 4
12	矢 部 知恵夫	昭50. 4～昭54. 4
13	高 木 孝 一	昭54. 4～昭58. 4
14	高 木 孝 一	昭58. 4～昭62. 4
15	高 木 孝 一	昭62. 4～平 3. 4
16	高 木 孝 一	平 3. 4～平 7. 4
17	河 瀬 一 治	平 7. 4～平11. 4
18	河 瀬 一 治	平11. 4～平15. 4
19	河 瀬 一 治	平15. 4～平19. 4
20	河 瀬 一 治	平19. 4～平23. 4
21	河 瀬 一 治	平23. 4～平27. 4
22	淵 上 隆 信	平27. 4～在職中

歴代助役

歴代	氏名	在職期間
初代	水 野 定 治	昭12. 6～昭16. 6
2	藤 本 重 志	昭16. 8～昭20. 7
3	関 市太郎	昭20. 9～昭22. 3
4	関 市太郎	昭22. 7～昭26. 6
5	関 市太郎	昭26. 7～昭30. 6
6	関 市太郎	昭30. 6～昭33. 8
7	桃 井 孝 一	昭33. 8～昭37. 8
8	桃 井 孝 一	昭37. 8～昭41. 8
9	川 端 喜代士	昭42. 6～昭46. 6
10	川 端 喜代士	昭46. 6～昭50. 6
11	川 端 喜代士	昭50. 6～昭54. 6
12	栗 原 正	昭54. 7～昭58. 7
13	栗 原 正	昭58. 7～昭62. 7
14	栗 原 正	昭62. 7～平 3. 7

歴代	氏名	在職期間
15	栗 原 正	平 3. 7～平 7. 5
16	市 橋 一 義	平 7. 5～平10. 3
17	坂 本 直 夫	平10. 4～平14. 3
18	坂 本 直 夫	平14. 4～平17. 3
19	多 田 清太郎	平17. 4～平19. 3
	塚 本 勝 典	平17. 4～平19. 3

歴代副市長

歴代	氏名	在職期間
初代	多 田 清太郎	平19. 4～平21. 3
	塚 本 勝 典	平19. 4～平21. 3
2	塚 本 勝 典	平21. 4～平23. 5
3	塚 本 勝 典	平23. 6～平27. 4
	木 村 学	平23. 6～平27. 3
4	中 山 和 範	平27. 5～在職中
	片 山 富士夫	平29. 4～在職中

歴代収入役

歴代	氏名	在職期間
初代	奥 井 加 一	昭12. 6～昭14.10
2	中 西 幸次郎	昭14.11～昭16.11
3	安 田 庄 吉	昭18. 2～昭21.12
4	杉 島 栄三郎	昭22. 5～昭24. 8
5	家 倉 梯二郎	昭24. 9～昭28. 9
6	家 倉 梯二郎	昭28. 9～昭31. 9
7	桃 井 孝 一	昭31.10～昭33. 8
8	岸 丈太郎	昭33. 8～昭37. 8
9	岸 丈太郎	昭37. 8～昭42. 9
10	川 田 義 一	昭42. 9～昭46. 9
11	川 田 義 一	昭46. 9～昭50. 9
12	川 田 義 一	昭50. 9～昭53. 3
13	藤 田 一 雄	昭53. 4～昭57. 3
14	伊 藤 卓 爾	昭57. 4～昭61. 3
15	伊 藤 卓 爾	昭61. 4～平元. 3
16	吉 村 栄	平元. 4～平 5. 3
17	吉 村 栄	平 5. 4～平 9. 3
18	坂 本 直 夫	平 9. 5～平10. 3
19	内 藤 久米男	平10. 4～平14. 3
20	靄 田 義 孝	平14. 4～平17. 3
21	寺 澤 二 郎	平17. 4～平19. 3

市議会の概要

議員定数 (平成30年1月1日現在)

Table with 2 columns: 条例定数, 現員数. Values: 24人, 23人.

本会議 (平成29年)

Table with 3 columns: 招集回数 (定例会, 臨時会), 本会議日数. Values: 4回, 0回, 20日.

議会提出議案の審議結果 (平成29年)

Table with 5 columns: 区分, 件数, 可決, 否決, 選挙. Rows: 条例, 意見書, 決議, 人事, 一般, 合計.

市長提出議案の審議結果 (平成29年)

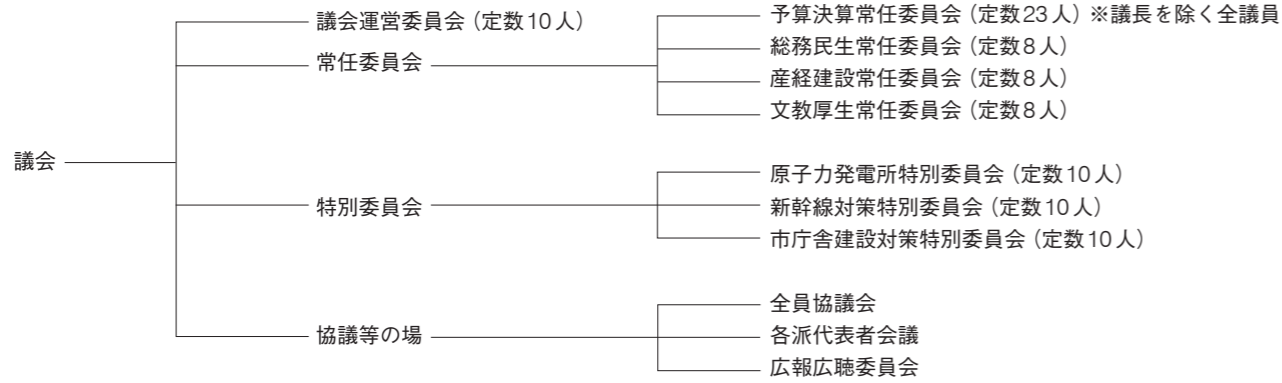
Table with 8 columns: 区分, 件数, 可決, 否決, 認定, 承認, 報告のみ, 同意. Rows: 予算, 条例, 決算, 人事, 一般, 報告, 合計.

※前年から継続案件除く

請願・陳情の審議結果 (平成29年)

Table with 5 columns: 区分, 件数, 採択, 趣旨採択, 不採択. Rows: 請願, 陳情, 合計.

議会構成



市議会議員 (議席順)

(平成30年1月1日現在)

Table of city council members with columns: 議席, 氏名, 党派, 所属常任委員会. Lists 24 members.

◎委員長 ○副委員長

(平成30年1月1日現在)

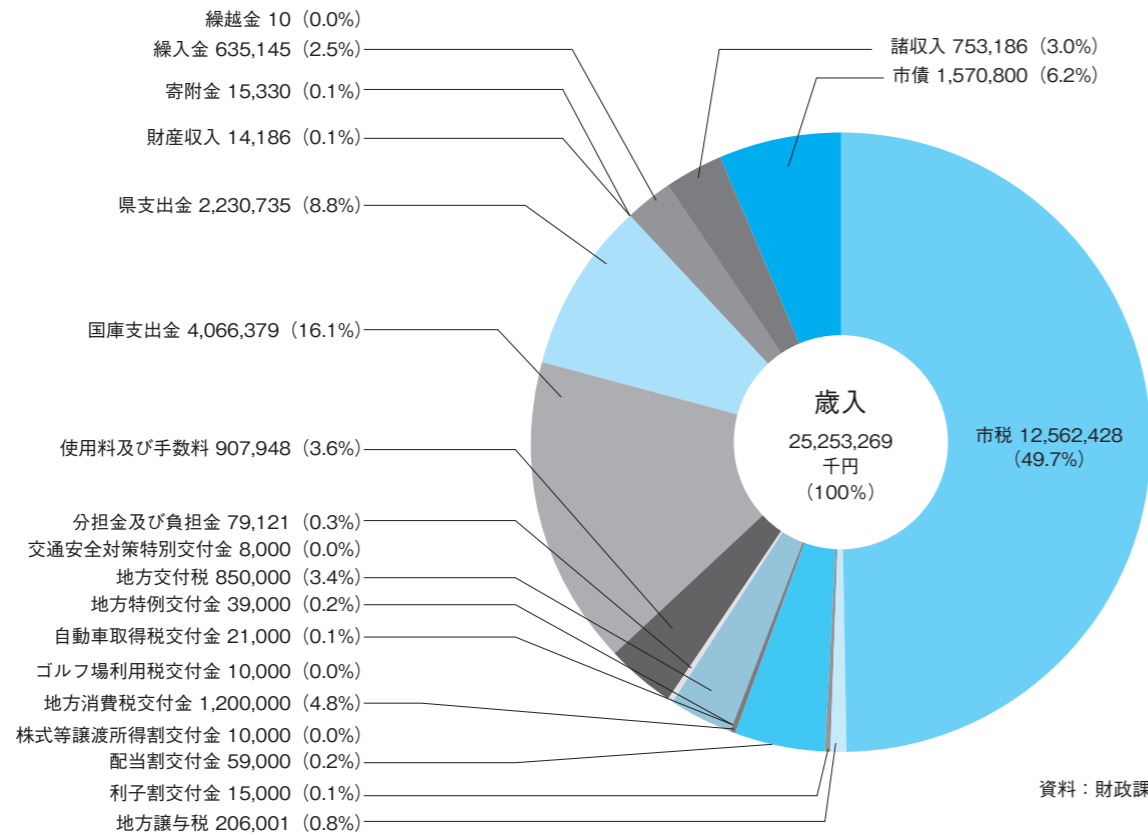
歴代議長

Table of past mayors with columns: 歴順, 氏名, 在職期間. Lists 54 mayors from 1982 to 2023.

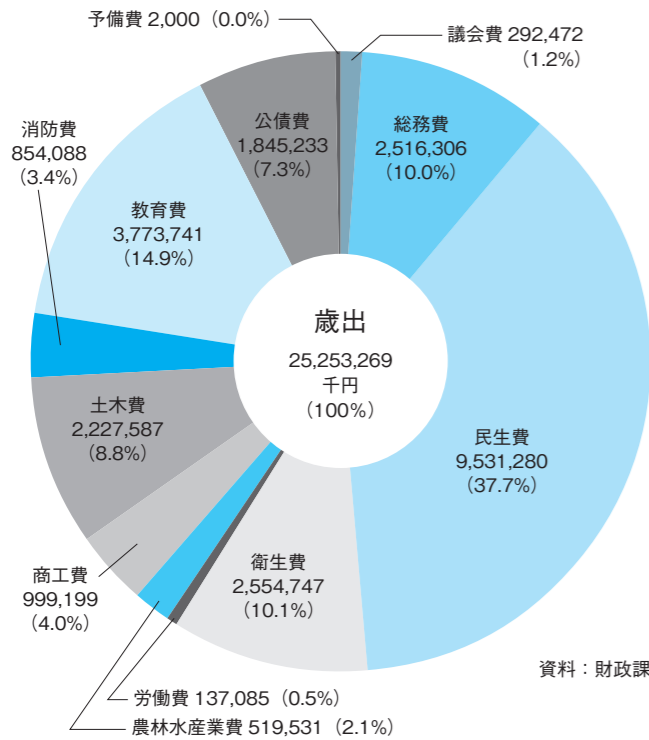
歴代副議長

Table of past deputy mayors with columns: 歴順, 氏名, 在職期間. Lists 56 deputy mayors from 1982 to 2023.

◎平成29年度 一般会計当初予算額



資料：財政課



資料：財政課

◎市有財産の状況

(平成28年度決算)

土地	建物	基金等積立金	出資金その他
2,835,900㎡	384,555㎡	11,393,075千円	1,226,030千円

資料：会計課

◎平成29年度 特別会計・企業会計当初予算額

会計名	予算額 (千円)
港 湾 施 設 事 業	22,690
都 市 計 画 土 地 区 画 整 理 事 業	162,826
国 民 健 康 保 険 (事 業 勘 定 の 部)	8,125,475
国 民 健 康 保 険 (施 設 勘 定 の 部)	26,838
下 水 道 事 業	2,924,304
漁 業 集 落 環 境 整 備 事 業	29,784
農 業 集 落 排 水 事 業	152,378
介 護 保 険	5,940,407
産 業 団 地 整 備 事 業	993,587
後 期 高 齢 者 医 療	678,437
小 計	19,056,726
市 立 敦 賀 病 院 事 業	8,241,032
水 道 事 業	2,069,702
小 計	10,310,734
合 計	29,367,460

資料：財政課

◎一般会計決算の状況

歳入

(単位：千円・%)

区 分	年 度	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
		金 額	構 成 比	伸 率	金 額	構 成 比	伸 率	金 額	構 成 比	伸 率
市 税	14,077,739	46.4	-0.3	13,908,380	47.5	-1.2	13,514,936	47.4	-2.8	
地 方 譲 与 税	211,133	0.7	-2.7	217,827	0.8	3.2	218,432	0.8	0.3	
利 子 割 交 付 金	24,828	0.1	-4.1	21,523	0.1	-13.3	13,170	0.1	-38.8	
配 当 割 交 付 金	82,227	0.3	93.7	67,140	0.2	-18.3	37,337	0.1	-44.4	
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	47,405	0.2	-29.4	58,667	0.2	23.8	22,300	0.1	-62.0	
地 方 消 費 税 交 付 金	811,955	2.7	20.8	1,356,169	4.6	67.0	1,223,153	4.3	-9.8	
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,128	0.1	-8.6	13,549	0.1	-16.0	13,138	0.0	-3.0	
自 動 車 取 得 税 交 付 金	25,316	0.1	-55.9	41,457	0.1	63.8	42,873	0.2	3.4	
地 方 特 例 交 付 金	39,834	0.1	-7.7	38,516	0.1	-3.3	39,494	0.1	2.5	
地 方 交 付 税	585,235	1.9	-11.7	825,905	2.8	41.1	832,902	2.9	0.8	
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	9,203	0.0	-11.9	9,852	0.0	7.1	9,483	0.0	-3.7	
分 担 金 及 び 負 担 金	1,124,915	3.7	85.8	98,300	0.3	-91.3	120,801	0.4	22.9	
使 用 料 及 び 手 数 料	584,507	1.9	-4.7	996,157	3.4	70.4	902,297	3.2	-9.4	
国 庫 支 出 金	4,448,214	14.7	-1.6	4,349,061	14.9	-2.2	4,278,525	15.0	-1.6	
県 支 出 金	2,593,850	8.5	-1.7	2,087,744	7.1	-19.5	2,371,213	8.3	13.6	
財 産 収 入	62,995	0.2	-46.5	100,073	0.4	58.9	120,300	0.4	20.2	
寄 附 金	58,744	0.2	-91.5	35,411	0.1	-39.7	3,697	0.0	-89.6	
繰 入 金	1,316,936	4.3	159.0	293,615	1.0	-77.7	386,568	1.4	31.7	
繰 越 金	1,624,087	5.4	15.3	1,725,346	5.9	6.2	1,615,236	5.7	-6.4	
諸 収 入	961,118	3.2	-12.1	960,150	3.3	-0.1	844,625	3.0	-12.0	
市 債	1,621,000	5.3	-33.2	2,061,800	7.1	27.2	1,884,500	6.6	-8.6	
合 計	30,327,369	100.0	-0.8	29,266,642	100.0	-3.5	28,494,980	100.0	-2.6	

資料：会計課

歳出

(単位：千円・%)

区 分	年 度	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
		金 額	構 成 比	伸 率	金 額	構 成 比	伸 率	金 額	構 成 比	伸 率
議 会 費	312,854	1.1	-0.5	311,978	1.1	-0.3	286,214	1.1	-8.3	
総 務 費	3,264,477	11.4	7.0	3,913,385	14.1	19.9	3,641,159	13.5	-7.0	
民 生 費	9,333,337	32.6	3.8	9,402,677	34.0	0.7	9,349,923	34.7	-0.6	
衛 生 費	2,842,056	9.9	0.9	2,628,431	9.5	-7.5	2,595,724	9.6	-1.2	
労 働 費	136,355	0.5	-0.7	139,328	0.5	2.2	135,921	0.5	-2.4	
農 林 水 産 業 費	623,340	2.2	-23.5	523,560	1.9	-16.0	662,559	2.5	26.5	
商 工 費	1,953,701	6.8	86.9	1,792,673	6.5	-8.2	1,289,696	4.8	-28.1	
土 木 費	3,311,487	11.6	-31.3	3,151,129	11.4	-4.8	2,542,511	9.4	-19.3	
消 防 費	959,961	3.4	5.5	873,994	3.2	-9.0	886,523	3.3	1.4	
教 育 費	3,473,700	12.2	-4.1	3,006,283	10.9	-13.5	3,717,073	13.8	23.6	
災 害 復 旧 費	121,034	0.4	-16.4	59,066	0.2	-51.2	0	0.0	皆減	
公 債 費	2,269,722	7.9	0.0	1,848,902	6.7	-18.5	1,825,534	6.8	-1.3	
合 計	28,602,024	100.0	-1.1	27,651,406	100.0	-3.3	26,932,837	100.0	-2.6	

資料：会計課

事業所の状況

(平成28年は6月1日現在、平成21年・26年は7月1日現在、平成13年・18年は10月1日現在、平成24年は2月1日現在)

区分	年別	総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	卸売・小売業、飲食店、宿泊業	金融・保険業	不動産業	情報通信業、運輸業	電気・ガス・熱供給・水道業	サービス業	公務
事業所数	平成13年	4,218	4	5	547	251	1,828	71	73	114	12	1,282	31
	18年	3,874	3	2	513	197	1,762	60	77	107	12	1,111	30
	21年	3,864	7	—	534	192	1,642	64	122	136	13	1,122	32
	24年	3,433	5	1	493	189	1,466	60	119	126	7	967	—
	26年	3,652	5	—	500	183	1,535	55	112	121	12	1,089	40
	28年	3,347	4	—	464	169	1,455	55	111	117	9	963	—
従業者数(人)	平成13年	36,521	31	91	4,990	5,271	10,291	724	234	2,526	854	10,638	871
	18年	34,813	18	30	4,666	4,496	10,118	631	235	2,204	655	10,908	852
	21年	36,415	97	—	4,304	3,852	10,157	763	432	2,698	698	12,341	1,073
	24年	33,382	22	3	4,155	4,604	9,594	636	566	2,723	678	10,401	—
	26年	36,072	15	—	4,192	4,366	9,981	667	499	2,566	618	12,241	927
	28年	32,019	23	—	4,004	3,806	9,610	629	560	2,439	525	10,423	—

注：平成18年から「卸・小売業、飲食店」に「宿泊」を追加、平成24年・28年は公務に関する公表データなし 資料：事業所・企業統計調査、経済センサス-基礎調査・経済センサス-活動調査

産業別・規模別事業所数(平成26年)

(平成26年7月1日現在)

規模	総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	卸売・小売業、飲食店、宿泊業	金融・保険業	不動産業	情報通信業、運輸業	電気・ガス・熱供給・水道業	サービス業	公務
1~4人	2,065	4	—	238	89	953	20	72	32	—	646	11
5~9人	737	1	—	133	34	312	15	29	23	3	173	14
10~19人	470	—	—	85	26	172	10	8	27	5	130	7
20~29人	154	—	—	20	9	49	3	1	10	1	58	3
30人以上	211	—	—	22	25	43	7	1	28	3	77	5
派遣・下請従業者のみ	15	—	—	2	—	6	—	1	1	—	5	—
国・地方公共団体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総数	3,652	5	—	500	183	1,535	55	112	121	12	1,089	40

注：国・地方公共団体、「公務」の調査なし 資料：経済センサス-基礎調査

産業別就業人口

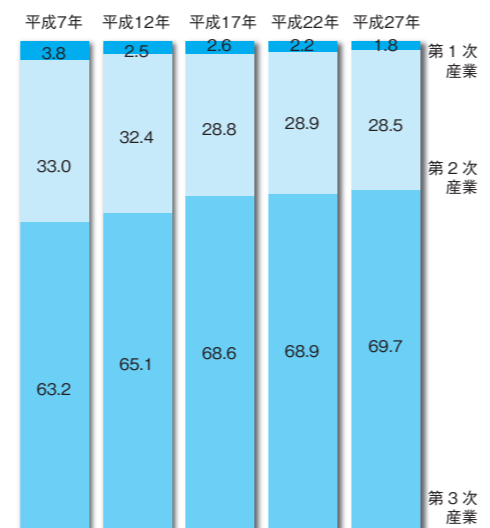
(各年10月1日現在) (単位：人)

産業分類	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
農業	1,178	692	738	619	520
林業	24	28	4	13	12
漁業	177	135	127	95	80
鉱業	60	13	13	6	8
建設業	5,162	5,924	5,104	5,209	4,287
製造業	6,562	5,352	4,699	4,380	4,503
宿泊・卸・小売業、飲食店	7,934	7,561	7,623	7,185	7,311
金融・保険、不動産業	933	898	839	949	1,006
運輸・通信業	2,262	2,265	2,331	2,322	2,547
電気・ガス・熱供給・水道業	1,086	1,259	1,017	1,120	893
サービス業	9,417	9,687	10,460	10,222	11,259
公務	951	1,033	1,109	1,095	1,077
分類不能の産業	26	9	95	162	495
総数	35,772	34,856	34,159	33,377	33,998

注：平成17年から「卸・小売業、飲食店」に「宿泊」を追加 資料：国勢調査

就業人口構造

(単位：%)



(平成23年は平成24年2月1日現在、その他各年は12月31日現在)

年次・産業別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	産業別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	
平成20年	177	4,760人	12,420,979万円	印刷	2	55	X	
21年	95	4,127	10,421,776	化学	2	133	X	
22年	93	4,230	11,167,994	石油・石炭	1	7	X	
23年	101	4,026	12,463,901	プラスチック	7	580	2,927,561	
24年	88	3,565	12,025,548	窯業・土石	9	558	715,800	
25年	84	3,624	11,042,842	非鉄金属	1	5	X	
26年	84	3,660	11,819,628	金属	11	121	238,599	
平成26年内訳	食料品	18	396	411,384	生産用機械	1	6	X
	繊維	6	380	1,954,619	電気機械	3	83	293,086
	木材	3	260	935,061	電子・デバイス	5	736	2,588,664
	家具	1	4	X	輸送機械	4	54	24,621
	パルプ・紙	3	109	164,503	その他	7	173	510,420

注：平成20、23年は全事業所、その他各年は従業者4人以上の事業所 注：「X」は数字が秘匿されているもの。資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査
注：平成23年は、平成24年経済センサス活動調査結果

(平成9年・14年・16年・19年は6月1日現在、平成6年・11年・26年は7月1日現在)

年次・産業別	商店数	従業員数	年間商品販売額	商品手持額	
平成6年	1,188	6,331人	19,859,839万円	1,609,103万円	
9年	1,166	6,337	20,429,034	1,382,186	
11年	1,257	7,244	20,329,328	—	
14年	1,117	6,881	18,987,407	1,434,096	
16年	1,068	6,522	17,670,656	—	
19年	961	6,127	18,365,360	—	
26年	697	4,795	15,984,600	—	
平成26年内訳	卸売業	160	1,024	8,609,100	—
	小売業	537	3,771	7,375,500	—
	各種商品小売業	3	378	720,100	—
	織物・衣服・身の回り品小売業	81	283	358,900	—
	飲食料品小売業	147	1,322	1,817,400	—
	機械器具小売業	89	571	1,653,000	—
	その他の小売業	201	1,113	2,605,000	—
無店舗小売業	16	104	221,100	—	

注：「-」平成11・16年は簡易調査のためなし 注：平成19・26年は「商品手持額」の集計なし 資料：商業統計調査

農家数・農家人口

(各年2月1日現在)

年別	総数	販売農家数(戸)					農家人口(人)	
		合計	専業	兼業		総数	農業従事者	
平成17年	1,309	743	134	609	80	529	—	
22年	1,150	601	135	466	44	422	—	
27年	975	502	133	369	20	349	—	

資料：農業センサス

経営耕地面積

(各年2月1日現在) (単位：ha)

年別	総数	田	畑	樹園地
平成17年	726	—	—	—
22年	678	—	—	—
27年	527	491	22	14

資料：農業センサス

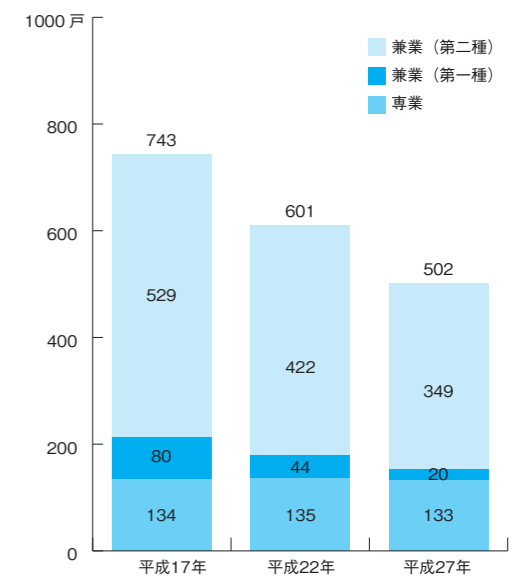
経営耕地面積規模別農家数

(各年2月1日現在)

年別	総数	0.5ha未満	0.5~1.0ha未満	1.0~1.5ha未満	1.5~2.0ha未満	2.0ha以上	例外規定に該当する農家
平成17年	1,309	822	312	104	29	38	4
22年	1,150	744	238	87	31	46	4
27年	975	627	184	80	27	53	4

資料：農業センサス

販売農家数の推移



◎森林面積の内訳

(平成28年3月31日現在)

合計	国有林	民有林
19,924ha	4,821ha	15,104ha

注：合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの

資料：福井県林業統計書

◎民有林資源構成表

(平成28年3月31日現在)

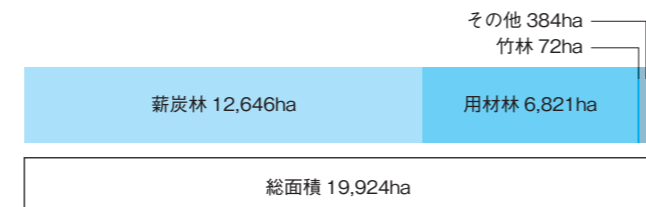


注：合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの

資料：福井県林業統計書

◎用途別森林面積

(平成28年3月31日現在)



注：合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの

資料：福井県林業統計書

◎道路

(各年度4月1日現在) (単位：km)

年度別	総数	国道	県道	市道
平成24年度	562.88	50.88	84.0	428.0
25年度	564.38	50.88	84.0	429.5
26年度	564.28	50.88	84.0	429.4
27年度	564.36	50.86	84.0	429.5
28年度	566.46	50.86	84.0	431.6

資料：国土交通省福井河川国道事務所、県土木事務所、市道河川課

◎河川

(平成29年4月1日現在) (単位：km)

通称		延長	名称	数	延長
二級河川	笙の川	18.31	準用河川	23	42.23
	黒河川	6.43	普通河川	120	81.43
	木ノ芽川	9.79	砂防指定地	83カ所	
	井ノ口川	5.35			
	五位川	5.95			
	助高川	4.09			
三味線川	1.76				

資料：県土木事務所、市道河川課

◎公共下水道

(平成29年3月31日現在)

名称	供用開始面積	管渠延長	処理場面積	処理能力	排除方法
汚水	1,196.2ha	317,498m	67,456㎡	37,575㎡/日	分流式
雨水	-	21,591	2,963	992.0㎡/min	
計	-	339,089	70,419	-	-

資料：下水道課

◎市営住宅戸数

(平成29年3月31日現在) (単位：戸)

種別	戸数
公営	1,120
改良	478
日雇	2
特公賃	8
計	1,608

資料：住宅政策課

◎都市計画区域

(平成29年3月31日現在)

範囲	行政区域の一部
面積	6,499ha

資料：都市政策課

◎都市計画街路

(平成29年3月31日現在)

路線数	路線延長
32	68,170m

資料：都市政策課

◎土地区画整理事業

(平成29年3月31日現在)

地区名	施工者	施工面積 (ha)	施工期間
敦賀第一	組合	4.5	昭和14年度～昭和35年度
戦災復興	県	113.5	昭和21年度～昭和31年度
敦賀船溜	県	4.6	昭和26年度～昭和29年度
清水地区	市	26.6	昭和37年度～昭和47年度
和久野団地	共同	20.1	昭和40年度～昭和42年度
昭和地区	市	39.0	昭和40年度～昭和54年度
松島地区	市	91.6	昭和45年度～昭和63年度
筋生野団地	共同	3.8	昭和47年度～昭和48年度
津内団地	個人	1.9	昭和51年度～昭和52年度
余座団地	共同	7.5	昭和53年度～昭和56年度
木崎地区	市	14.4	昭和55年度～昭和62年度
古田刈地区	市	50.9	昭和55年度～平成13年度
野神第一地区	組合	5.8	平成元年度～平成5年度
丸山地区	共同	4.1	平成元年度～平成2年度
東野神地区	組合	11.3	平成元年度～平成5年度
栗野南地区	組合	6.8	平成3年度～平成6年度
櫛川地区	組合	19.0	平成4年度～平成9年度
山泉地区	組合	8.8	平成5年度～平成7年度
堂地区	組合	14.0	平成4年度～平成10年度
筋生野西地区	組合	4.1	平成8年度～平成11年度
筋生野東地区	組合	3.2	平成13年度～平成16年度
市野々地区	組合	6.6	平成14年度～平成19年度
敦賀駅西地区	市	4.7	平成19年度～

資料：都市政策課

◎公園

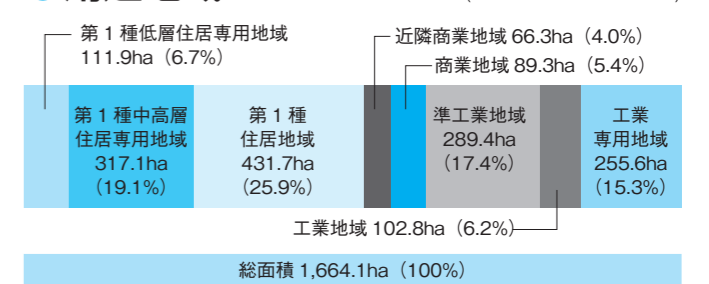
(平成29年3月31日現在)

種別	公園数	面積
総合公園	2	96.2ha
運動公園	1	32.7
近隣公園	3	8.2
街区公園	31	6.6
都市緑地	1	1.0
広場公園	2	0.2
児童遊園地	9	0.4
開発行為による緑地	86	3.5

資料：都市政策課

◎用途地域

(平成29年3月31日現在)



資料：都市政策課

◎漁業経営体数

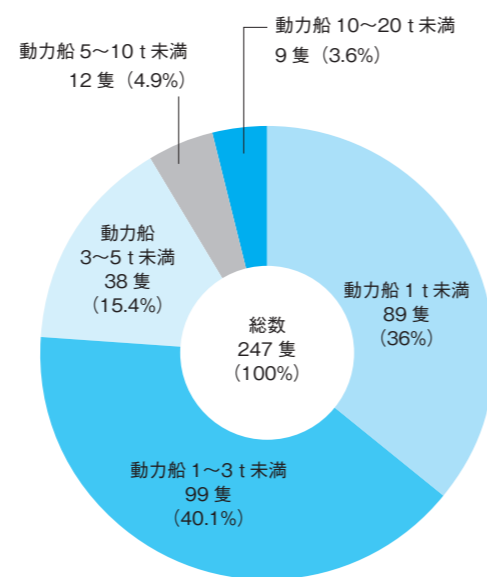
(各年11月1日現在)

年次	計	個人	会社	漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営	官公庁学校試験場
平成5年	144	137	1	2	-	4	-
10年	136	122	-	1	-	13	-
15年	121	118	-	1	-	2	-
20年	110	108	-	1	-	1	-
25年	103	102	-	1	-	-	-

資料：漁業センサス

◎規模別漁船登録数

(平成29年12月31日現在)



◎漁獲量の推移

(各年12月31日現在) (単位：t)

年次	総数	魚類	貝類	藻類	水産動物
平成23年	913	638	17	1	257
24年	769	519	17	1	232
25年	809	563	17	1	228
26年	844	607	20	2	215
27年	741	539	19	1	182
28年	812	577	20	1	214

(※水産動物：頭足類、甲殻類、棘皮類) 資料：農林水産振興課

医療関係従事者

(各年12月31日現在)

年別	総数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師 (准看護師含)	栄養士
平成20年	1,253	135	37	112	30	22	894	23
22年	1,272	136	36	112	37	24	902	25
24年	1,302	135	36	114	34	32	934	17
26年	1,342	134	29	124	41	30	960	24
28年	1,394	129	32	122	51	32	1,004	24

医療施設

(各年10月1日現在)

年別	総数		病院		診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	
平成24年	77	1,113	5	1,045	50	68	22
25年	77	1,093	5	1,034	50	59	22
26年	77	1,093	5	1,034	50	59	22
27年	76	1,091	5	1,032	49	59	22
28年	75	1,091	5	1,032	48	59	22

資料：厚生労働省「医療施設調査」

市立敦賀病院の病床数

(平成29年4月1日現在)

一般病床	感染症病床
330床	2床

資料：市立敦賀病院

市立敦賀病院延患者数

(各年度3月31日現在) (単位:人)

年度別	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
外来	179,292	177,235	175,061	169,961	169,454
入院	103,962	99,380	94,618	94,759	95,693

資料：市立敦賀病院

ごみ処理の状況

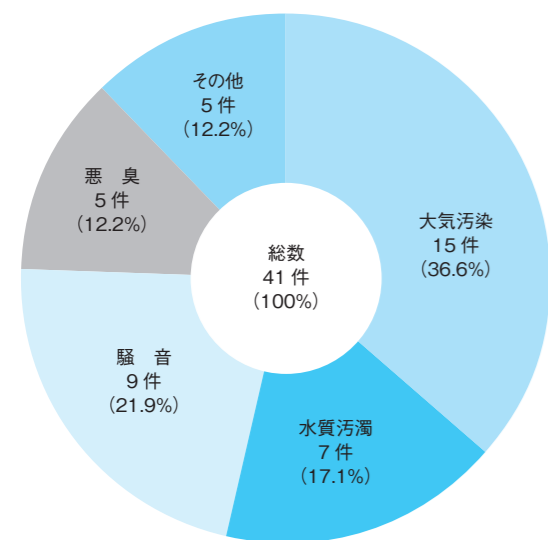
(各年度3月31日現在) (単位:t)

年度別	ごみ処理量							計
	燃やせるごみ	資源ごみ (ビン含む)	ペットボトル	粗大ごみ (小型複合ごみ・ 水銀含有ごみ含む)	埋立ごみ	古紙	魚腸骨	
平成24年度	19,716	1,872	229	2,676	351	1,974	284	27,102
25年度	19,272	1,831	215	2,626	308	1,879	287	26,419
26年度	19,200	1,617	227	2,338	353	1,764	280	25,778
27年度	18,870	1,669	227	2,471	333	1,687	268	25,526
28年度	18,463	1,696	197	2,466	298	1,576	283	24,980

注：合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの

資料：清掃センター

公害苦情件数(平成28年度)



資料：環境廃棄物対策課

資源回収量

(各年度3月31日現在) (単位:t)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
アルミ缶プレス	116.82	122.49	118.55
スチールプレス	172.96	144.16	119.84
破 碎 鉄	140.79	138.43	139.95
粗 大 金 属 類	355.06	348.30	344.98
小 型 家 電	18.80	16.60	16.95
水 銀 含 有 ご み	28.85	37.35	33.18
被 覆 電 線	2.63	2.25	4.47
プラスチック減容物	180.18	166.90	164.76
ペットボトル圧縮物	187.52	189.16	159.31
カレット 透明	156.06	149.60	151.47
カレット その他色	360.53	355.46	368.24
古 紙 類	2,089.86	1,998.77	1,865.65
魚 腸 骨	279.60	268.41	282.77
二 次 電 池	0.15	0.08	0.36
合 計	4,089.81	3,937.96	3,770.48

資料：清掃センター

リサイクル率・1人1日当たりごみ排出量

区 分	26年度	27年度	28年度
リサイクル率	15.9%	15.4%	15.1%
1人1日当たりごみ排出量	1,041 g	1,036 g	1,023 g

注：1人1日当たりごみ排出量のごみ処理人口は9月末人口にて算出

資料：清掃センター

J R 敦賀駅の乗車人数(1日平均)

(各年度3月31日現在) (単位:人)

年 度 別	乗 車 人 数		
	合 計	普 通	定 期
平成24年度	3,488	2,275	1,213
25年度	3,386	2,113	1,273
26年度	3,365	2,108	1,257
27年度	3,602	2,267	1,335
28年度	3,611	2,235	1,376

資料：J R 敦賀駅

自動車台数の状況

(各年度3月31日現在) (単位:台)

年度別	総数	貨物車	バス	乗用車	特種用途車	大型特殊車	軽自動車	二輪車
平成24年度	54,036	4,388	210	24,228	875	529	22,190	1,616
25年度	54,583	4,439	210	23,865	866	539	23,022	1,642
26年度	55,293	4,397	210	23,652	866	569	23,972	1,627
27年度	55,028	4,360	208	23,465	862	570	23,933	1,630
28年度	55,373	4,460	211	23,573	875	569	24,060	1,625

資料：中部運輸局福井運輸支局

海洋出入貨物の状況

(各年12月31日現在) (単位:t)

年 別		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
		輸移出	外国 551,331 内国 5,251,491 計 5,802,822	453,392 5,410,989 5,864,381	432,260 5,379,715 5,811,975	348,665 5,709,531 6,058,196
輸移入	外国 3,431,227 内国 5,771,239 計 9,202,466	3,148,806 5,790,872 8,939,678	3,645,387 5,850,367 9,495,754	3,351,512 6,232,898 9,584,410	3,352,848 6,361,641 9,714,489	

資料：県敦賀港湾事務所

入港船舶の状況

(各年12月31日現在)

年 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
外 航	隻 数 399	383	393	363
	総トン数 3,983,825	4,169,620	3,986,769	4,577,739
内 航	隻 数 1,737	1,654	1,762	1,718
(その他を含む)	総トン数 10,405,182	10,795,880	11,388,668	10,905,139
総 数	隻 数 2,136	2,037	2,155	2,081
	総トン数 14,389,007	14,965,500	15,375,437	15,482,878

資料：県敦賀港湾事務所

フェリー利用の状況

(各年12月31日現在)

年 別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
入出港回数(回)	754	767	775	776	752
乗客総数(人)	67,442	65,203	71,674	75,904	70,892
トラック等(台)	93,318	94,449	91,123	97,479	98,426
乗 用 車(台)	37,697	37,288	32,285	27,028	27,939

資料：新日本海フェリー(株)敦賀支店

出入貨物品種別の状況

(平成29年12月31日現在) (単位:t)

品 名	輸 移 出		輸 移 入	
	内国	外国	内国	外国
野菜・果物	12,360	485	139,660	109
石 灰 炭			100	2,797,353
石 灰 石	11,464		543,035	
非 金 属 鉱 物	15,569		85,841	72,090
完成自動車	4,279,910		4,107,230	
その他輸送機械	679,320	32,526	672,670	26,724
セ メ ン ト	117,469	115,476	17,937	1
重 油	47,666		62,946	
化 学 薬 品	15,137	2,322	149,447	33,715
紙・パルプ	6,340	8,804	103,740	1,348
その他製造工業品	198,460	1,991	16,700	15,734
再 利 用 資 材	34,771	84,429	29,436	176
そ の 他	379,905	143,753	432,899	405,598
合 計	5,798,371	389,786	6,361,641	3,352,848

資料：県敦賀港湾事務所

◎福祉施設の状況

(各年度4月末現在)

年度別	乳児院 (白梅学園)			養護施設 (白梅学園)			児童厚生施設			児童文化センター	保育園			指定障害者支援施設 (やまびこ園)				障害者通所施設			児童デイサービスセンター	子ども発達支援センター	福祉総合センター	隣保館(三島会館)			養護老人ホーム				
	施設数	定員	収容人員	施設数	定員	収容人員	児童館	児童センター	児童遊園		園数	定員	入所人員	施設数	定員	通所人員	施設数	定員	通所人員	施設数				定員	通所人員	施設数	定員	通所人員	ホーム数	定員	入所人員
平成25年度	1	9	8	1	50	40	2	1	1	1	21	1,990	1,960	1	30	20	28	26	5	126	116	1	1	1	1	30	30				
26年度	1	9	7	1	50	35	2	1	1	1	21	1,990	1,972	1	30	20	27	24	5	140	135	1	1	1	1	30	30				
27年度	1	9	7	1	50	37	2	1	1	1	21	1,990	1,924	1	30	20	26	27	5	140	143	1	1	1	1	30	30				
28年度	1	9	8	2	50	44	2	1	1	1	24	2,031	1,931	1	30	20	30	24	6	160	144	1	1	1	1	30	30				
29年度	1	9	6	3	50	43	2	1	1	1	24	2,031	1,927	1	30	20	30	25	7	180	159	1	1	1	1	30	29				

資料：地域福祉課、児童家庭課、長寿健康課

◎介護保険施設の状況

(各年6月末現在)

年別	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
平成25年	4	287	4	295	1	60
26年	4	287	4	295	1	60
27年	5	316	4	295	1	60
28年	5	316	4	295	1	60
29年	5	316	4	365	0	0

資料：長寿健康課

◎生活保護の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	被保護世帯数 (世帯)	被保護人員 (人)	保護率 (百人当たり) (%)	保護費総額 (千円)	生活扶助 (千円)	住宅扶助 (千円)	教育扶助 (千円)	医療扶助 (千円)	介護扶助 (千円)	出産扶助 (千円)	生業扶助 (千円)	葬祭扶助 (千円)	施設事務費 (千円)
平成24年度	244	308	0.45	554,081	164,821	39,409	1,930	321,925	8,794	0	565	855	15,782
25年度	244	306	0.45	507,944	166,664	41,792	1,275	270,096	8,051	0	614	1,382	18,070
26年度	248	308	0.46	507,201	165,669	43,321	1,695	269,527	8,050	0	731	902	17,306
27年度	274	332	0.49	537,783	169,911	51,853	1,595	290,287	8,570	0	771	529	14,267
28年度	298	356	0.53	582,257	186,209	59,339	744	310,545	8,880	197	945	271	15,127

資料：地域福祉課

◎介護保険認定者の状況

(各年10月末現在)

年別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成25年	372	434	623	479	422	382	356	3,068
26年	403	453	650	550	439	357	367	3,219
27年	364	474	646	602	439	368	397	3,290
28年	395	464	659	645	472	375	350	3,360
29年	374	468	681	660	496	377	337	3,393

資料：長寿健康課

◎国民健康保険の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	加入状況		保険給付費							高額医療費 (千円)	その他の給付 (千円)
	被保険世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	療養諸費 (千円)					保険者負担額 (千円)	計		
			一般	歯科	薬剤	療養費	計				
平成24年度	9,778	16,587	4,498,518	328,714	869,808	52,077	5,749,117	4,175,875	547,048	37,563	
25年度	9,675	16,153	4,505,994	324,702	946,993	60,703	5,838,392	4,251,397	556,315	42,393	
26年度	9,538	15,710	4,487,822	314,936	969,675	52,186	5,824,619	4,250,103	559,494	29,655	
27年度	9,298	15,037	4,624,452	308,441	1,027,904	50,741	6,011,538	4,387,605	613,875	28,482	
28年度	8,817	14,038	4,377,948	285,526	952,513	49,667	5,665,654	4,123,298	605,939	23,488	

資料：国保年金課

◎国民年金の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	国民年金支給状況				年金加入状況				
	老齢給付	障害給付	遺族給付	計	1号(件)	任意(件)	3号(件)	計(件)	
平成27年度	件数(件)	15,720	968	147	16,835	6,481	60	5,403	11,944
	金額(千円)	10,835,445	825,311	113,550	11,774,306				
28年度	件数(件)	16,151	986	142	17,279	5,931	54	5,147	11,132
	金額(千円)	11,167,412	839,181	108,998	12,115,591				

資料：国保年金課

TSURUGA 電気・ガス・水道

◎電灯・電力消費の状況

(各年度3月31日現在) (単位：MWh)

年度別	電灯	電力					合計
		業務用	小口	大口	その他	計	
平成24年度	214,592	135,814	49,069	433,099	9,372	627,354	841,946
25年度	209,862	135,659	49,169	424,731	7,744	617,303	827,165
26年度	204,889	131,604	47,573	419,098	8,870	607,145	812,034
27年度	196,266	127,853	44,906	425,077	8,273	606,109	802,375
28年度	198,710	130,183	44,948	486,269	8,111	669,511	868,221

※電灯の使用電力量については、定額、従量、その他の合計で記載してあります。

資料：北陸電力株資質営業所

◎都市ガス消費量

(各年12月31日現在) (単位：m³)

年別	総数	家庭用	工業用	商業用	その他
平成25年	1,083,046	589,902	—	236,542	256,602
26年	1,062,965	582,205	—	233,474	247,286
27年	1,037,943	561,700	—	237,868	238,375
28年	1,019,029	531,634	—	236,301	251,094
29年	1,036,265	538,217	—	237,814	260,234

※45MJ/m³ベース 資料：敦賀ガス株式会社

◎水道の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	給水戸数	給水人口	取水量	配水管総延長	総配水量	有収水量	水道料金
平成24年度	27,133戸	66,192人	10,935,480m³	365,036m	10,935,480m³	10,126,367m³	927,139千円
25年度	27,218	65,845	10,731,834	365,419	10,731,834	9,980,606	917,977
26年度	27,337	65,386	10,520,323	367,261	10,520,323	9,759,112	897,094
27年度	27,347	64,766	10,505,083	368,321	10,505,083	9,717,301	895,186
28年度	27,743	65,062	10,710,336	546,655	10,710,336	9,912,908	914,156

※平成28年度から簡易水道を統合した数値で記載してあります。

資料：上水道課

●学校

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	園・学校	学級数	児・生徒数	教職員数
幼稚園	平成25年度	5	19	485	62
	26年度	5	24	435	63
	27年度	5	23	402	55
	28年度	3	10	155	35
	29年度	3	9	154	31
認定こども園	平成28年度	4	29	572	69
	29年度	4	30	590	76
小学校	平成25年度	15	158	3,847	267
	26年度	15	161	3,828	269
	27年度	15	157	3,757	256
	28年度	15	158	3,726	265
	29年度	15	160	3,648	260
中学校	平成25年度	7	82	2,065	163
	26年度	6	74	1,935	148
	27年度	6	73	1,920	143
	28年度	6	72	1,860	148
	29年度	6	75	1,833	147

資料：学校教育課、敦賀教会幼稚園、早翠幼稚園、第二早翠幼稚園、新和さみどり保育園、さみどり保育園

●高校

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	学級数	生徒数	教職員数
敦賀高校	平成27年度	24	851	79
	28年度	24	841	77
	29年度	24	824	79
敦賀工業高校	平成27年度	12	373	53
	28年度	12	358	53
	29年度	12	350	53
敦賀気比高校	平成27年度	21	685	86
	28年度	21	683	87
	29年度	21	685	86

資料：各高校

●大学

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	学生数	教職員数
看護大学	平成27年度	112	38
	28年度	168	43
	29年度	224	46

●中学卒業生の進路状況(平成28年度)

卒業生総数	進学者	就職者							その他
		市内	県内	京阪神	中京	関東	その他	計	
631	627	2	0	0	0	0	0	2	2

資料：学校教育課

●高校卒業生の進路状況(平成28年度)

区分	卒業生総数	進学者	就職者							その他
			市内	県内	京阪神	中京	関東	その他	計	
敦賀高校	281	225	35	14	0	0	2	2	53	3
敦賀工業高校	119	29	59	19	4	6	2	0	90	0
敦賀気比高校	223	166	24	14	5	1	6	1	51	6

資料：各高校

●市立社会教育施設等

(平成30年1月1日現在)

施設名	所在地	施設内容
生涯学習センター	東洋町	事務室1、談話室1、研修室3 鉄骨造2階建・延面積465㎡
東浦公民館	五幡	事務室1、和室2、ホール1、研修室2、調理実習室1 鉄筋コンクリート2階建・延面積880㎡
北公民館	曙町	事務室1、図書室1、研修室2、和室2、ホール1、調理実習室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積797㎡
南公民館	本町2丁目	事務室1、研修室2、和室2、調理実習室1、ホール1 鉄筋コンクリート3階建・延面積1,780㎡
西公民館	三島町2丁目	事務室1、展示ホール1、美術工芸室1、調理実習室1、小ホール1、大ホール1、研修室3、談話室1、和室1、特別会議室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積2,066㎡
東郷公民館(東郷コミュニティセンター)	井川	事務室1、和室2、研修室1、ホール1、調理実習室1、会議室1、体育館1 公民館 鉄筋コンクリート2階建(一部鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建)・延面積847㎡ 体育館 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建・延面積1,151㎡
中郷公民館	羽織町	事務室1、研修室1、調理実習室1、ホール1、会議室2、和室2 鉄筋コンクリート2階建・延面積1,082㎡
愛発公民館	足田	事務室1、会議室1、ホール1、研修室2、和室1、調理実習室1、体育館1、その他(工芸室、多目的室等) 公民館 鉄筋コンクリート3階建(1・2階)・延面積1,960㎡ 体育館 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建・延面積1,020㎡
栗野公民館	御名	事務室1、会議室1、サロン1、大ホール1、小ホール1、研修室3、研修室(和室)1、料理実習室1、託児室1、図書室1、創作室1、屋上広場1 鉄筋コンクリート3階建一部鉄骨鉄筋コンクリート造・延面積1,998㎡
松原公民館	新松島町	事務室1、研修室2、調理実習室1、ホール1、和室1、ミーティングルーム1 鉄筋コンクリート2階建・延面積1,330㎡
市立図書館視聴覚ライブラリー	東洋町	事務室1、館長室1、一般閲覧コーナー1、小中学生閲覧コーナー1、幼児コーナー1、読書室2、参考室1、会議室2、研修室1、特別資料室1、書庫2、視聴覚コーナー1、視聴覚器材室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積3,288㎡
少年愛護センター	東洋町	事務室1、相談室1 延面積128㎡(併用施設)
市立博物館	相生町	事務所2、展示室3、講堂1、地下室2、貴賓室1、収蔵庫3、学芸員室1、作業室1、鉄骨煉瓦造一部鉄筋コンクリート3階建地下1階・延面積1406.183㎡
少年自然の家	野坂	事務室1、食堂1、スタッフルーム1、宿泊室20、和室4、研修室1、談話室1、大浴場1、中浴場1、体育館1、クラフト室1 鉄筋コンクリート2階建・延面積2,500㎡
市民文化センター	桜町	大ホール1、小ホール1、和室1、多目的室1、練習室1、リハーサル室1、楽屋3、事務室1 鉄筋コンクリート4階建地下1階・延面積5,312㎡
プラザ萬象	東洋町	事務室1、応接室1、大ホール1、小ホール1(能舞台含む)、楽屋2、会議室4、和室4、茶室1、団体室12、多目的室1、配膳室1 鉄筋コンクリート地上1階一部2階建・延面積6,627㎡
みなとつるが山車会館	相生町	事務室1、山車展示室1、山車収納庫1、スクリーンシアター1、常設展示室1、ギャラリー1、研修室1、別館展示場1 鉄筋コンクリート3階建・延面積1,537㎡ 別館木造2階建・延面積350㎡ 土蔵造2階建・延面積43㎡

資料：生涯学習課、文化振興課、各施設

●市スポーツ施設

(平成30年1月1日現在)

施設名	所在地	施設内容
市立体育館	松葉町	鉄骨鉄筋コンクリート2階建、観覧席収容人員1,279人、競技場1,462㎡(34×43)、建物面積3,664㎡
東浦体育館	阿曾	鉄筋コンクリート平屋建、競技場547.2㎡(28.5×19.2) 建物面積784㎡
市営野球場	松島町	両翼90m、中堅106m、観覧席収容人員8,500人 敷地面積14,732㎡
松原運動場	松島町	敷地面積10,490㎡
栗野スポーツセンター	長谷	体育館 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造2階建、観覧席192席、競技場1,200㎡(37.5×32)、建物面積2,454㎡ 運動場 敷地面積10,000㎡、夜間照明付(ソフトボール2面)、屋外便所、駐車場
金山体育館	金山	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建、競技場370㎡(25×14.8)、延床面積850㎡
中郷体育館	羽織町	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造3階建、競技場1,200㎡(37.5×32) 観覧席85席、駐車場83台、延床面積2,560㎡
中郷スポーツ広場	羽織町	多目的広場7,016㎡(ゲートボール、グラウンド・ゴルフ等) 駐車場21台
きらめきスタジアム	若泉町	敷地面積45,000㎡、ソフトボール球場(学童野球)2面 多目的広場11,165㎡(ソフトボール・学童野球2面・サッカー1面) 管理棟・夜間照明付・駐車場200台
武道館	曙町	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建、柔道場、剣道場、空手・拳法室、会議室 建物面積1,858㎡
花城テニスコート	檜川	砂入り人工芝コート6面、管理棟・夜間照明付、敷地面積5,862㎡
花城プール	檜川	25m6コース、水深0.9～1.0m、敷地面積750㎡
愛発プール	足田	25m6コース、水深0.9～1.0m、敷地面積1,699㎡
照学明校施設開放	角鹿中	屋外運動場照明施設(軟式野球・ソフトボール)
	気比中	屋外運動場照明施設(軟式野球)
	中郷小	屋外運動場照明施設(ソフトボール)
グラウンド・ゴルフ場「リラ・グリーン」	高野	グラウンド・ゴルフ場8ホール×4コース

資料：スポーツ振興課、観光振興課

●図書館の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	蔵書数	貸出冊数
平成23年度	240,536冊	320,230冊
24年度	247,354冊	319,981冊
25年度	252,969冊	318,871冊
26年度	255,742冊	317,779冊
27年度	256,338冊	312,220冊
28年度	262,087冊	298,285冊

資料：市立図書館

●総合運動公園

(平成30年1月1日現在)

施設名	施設内容
陸上競技場	トラック…合成ゴムシート(全天候)舗装 フィールド天然芝 1周400m 8コース 収容人員…11,000人
野球場	両翼97m 中堅122m 収容人員…15,000人
テニスコート	全天候型・センターコート1カ所 2面 一般コート3カ所 6面、 ウォールテニスコート1カ所
体育館	○第1競技場(38m×52m) ○第2競技場(32m×19m) ○研修室(1面鏡張り) ○幼児体育室
ゲートボール場	○屋内コート2面(サンドフィルタイプ人工芝) ○屋外コート8面(クレイ舗装)
弓道場	○近的射場(射距離28m)10人立 ○遠的射場(射距離60m)6人立
プール	○屋内プール(温水)25m 8コース ○屋外プール50m 9コース ○トレーニングルーム、体力測定室

3. 修景池

施設名	施設内容
芝生広場	八ッ橋、浮見堂、太鼓橋、 花植栽(ショウブ、カキツバタ)

資料：総合運動公園

文化財

◎国指定文化財20件

種別	区分	名称及び員数	所在地	指定年月日		
国宝	工芸品	朝鮮鐘	1口 常宮	昭27.11.23		
重要文化財	絵画	絹本着色 主夜神像	1幅 原	明33. 4. 7		
		＊観経变相曼荼羅図	1幅	明33. 4. 7		
		＊阿弥陀如来像	1幅	明34. 8. 2		
	建造物	氣比神宮大鳥居	1基 曙町	明34. 3.27		
		西福寺御影堂 阿弥陀堂	各1棟 原	平20. 6. 9		
		書院及び庫裏	各1棟 原	大 3. 4.17		
	書跡	西福寺一切経観進経	25巻 原	大 3. 4.17		
		紙本墨書 般若心経	1巻	大 3. 4.17		
	典籍	奥の細道(素龍書写奥書) 附 細道伝来記	各1冊 新道	昭47. 5.30		
	工芸品	孔雀鍍金経箱	1合 原	平 5. 1.20		
有形文化財	建造物	旧大和銀行本店本館 附 建築図面23枚 暖房工事設計図 1冊 昇降機 1式	相生町	平29. 2.23		
重要無形民俗文化財		敦賀西町の綱引き	相生町	昭61. 1.14		
記念物	史跡	金ヶ崎城跡	金ヶ崎町	昭 9. 3.13		
		武田耕雲斎等墓	松島町2丁目	昭 9.12.28		
		中郷古墳群	吉河・坂下	昭 63. 3.23		
		玄蕃尾城（内中尾山城）跡	刀根・滋賀県長浜市	平11. 7.13		
	名勝	氣比の松原	松島・櫛川	昭 3. 6.28		
		西福寺書院庭園	原	昭 7. 4.19		
		柴田氏庭園	市野々町1丁目	昭 7. 4.19 (通)平19.7.26		
		おくのほそ道の風景地 けいの明神（氣比神宮境内）	曙町	平28.10. 3		
(*)	(特別天然記念物カモシカ)		(敦賀市全域)	(昭30.2.15)		

資料：文化振興課

◎市指定文化財145件

○有形文化財101件

（平成29年5月2日現在）

建造物

名称	員数	所在地	指定年月日
沓見宝塔（石造）	1基	沓見	平 8. 6.11
小刀根トンネル	1基	刀根	平 8. 6.11
西福寺境内建物	5棟	原	平10. 1.13
永賞寺九重塔（石造九重塔）	1基	栄新町	平13.10.10
旧敦賀港駅ランプ小屋	1棟	金ヶ崎町	平29. 4.17

絵画

名称	員数	所在地	指定年月日
鍍金著色 観音像図	1面	松島町2丁目	昭29. 5.20
絹本墨画 風竹図	1幅	原	昭29. 6.17
絹本着色 阿弥陀来迎図	1幅	栄新町	昭31. 4. 1
絹本着色 十六羅漢図（額装）	15枚	松島町	昭33. 3.28
絹本着色 仏涅槃図	1幅	松島町	昭33. 3.28
絹本着色 仏涅槃図	1幅	原	昭34.10. 5
絹本着色 観経曼荼羅図（正宗分）	1幅	原	昭34.10. 5
紙本着色 鏡引図六曲屏風 内海元紀筆	1隻	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 架鷹図六曲屏風 二代橋本長兵衛筆	1双	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 桃園三傑図横 山水図横 今村公範筆	4面 4面	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 架鷹図六曲屏風 二代橋本長兵衛筆	1双	櫻曲	昭38. 7.15
板絵著色 神功皇后三轉出 征図絵馬 内海元孝筆	1枚	山	昭40. 7. 5
紙本着色 楓 downstream 図六曲屏風 内海吉堂筆	1双	相生町	昭42. 8. 9
絹本着色 阿弥陀二十五菩薩 来迎図（額装）	1枚	原	昭59. 3. 1
紙本着色 竹虎図横	8面	原	昭59. 3. 1 (通)平18.4.12
紙本淡彩 松鶴図横	4面	原	昭59. 3. 1

絵画

名称	員数	所在地	指定年月日
紙本墨画 山水図横	4面	原	昭59. 3. 1
紙本着色 高山四松図横	8面 貼付1面	原	昭59. 3. 1
紙本着色 架鷹図六曲屏風 初代橋本長兵衛筆	1隻	三島町1丁目	昭59. 3. 1
紙本着色 不動明王図 一宮長常筆	1幅	相生町	昭59. 3. 1
紙本着色 花卉図横 曲水図横 内海元孝筆	5面 5面	相生町	昭61. 2.26
紙本墨画 仙人図 初代橋本長兵衛筆	6幅	相生町	昭61. 2.26 (通) 62.4.9
紙本墨画 枯木に鷹図 二代橋本長兵衛筆	1幅	相生町	昭61. 2.26
紙本着色 一宮長常画像 勝山琢眼筆	1幅	相生町	平元. 3.10
絹本墨画 十一面観音像	1幅	原	平 2. 3.12
紙本着色 架鷹図六曲屏風 初代橋本長兵衛筆	1双	相生町	平14. 7.10

彫刻

名称	員数	所在地	指定年月日
木彫猿田彦面（天文十年紀久次の墨書）	1面	曙町(相生町)	昭29. 4.25
木造 聖観世音菩薩坐像	1軀	錫師師町	昭29.12.21
木造 聖観世音菩薩立像	1軀	山泉	昭31. 4. 1
能面附（銘イセキ）	1面	曙町(相生町)	昭31. 4. 1
木造 十八羅漢坐像	18軀	松島町	昭33. 3.28

◎県指定文化財29件

種別	区分	名称及び員数	所在地	指定年月日		
有形文化財	工芸品	日本刀外装	1口 三島町1丁目	昭31. 3.12		
		八十一難經版木	6枚 原	昭40. 5.18		
		木製加齢藤高降子	12枚 松島町2丁目	平 6. 5.20		
		銅駒口正平丁酉年銘	1口 色浜（相生町）	平26. 3.28		
	彫刻	木造釈迦如来坐像	1軀 刀根	昭55. 3.11		
		木造不動明王立像	1軀 御名	平18. 4.25		
		木造毘沙門天立像	1軀 御名	平18. 4.25		
	絵画	絹本着色観経曼荼羅図（序文）	1幅 原	昭55. 3.11		
		紫絹金銀泥絵阿弥陀八大菩薩像	1幅 神楽町1丁目	平12. 3.21		
		絹本着色 放光菩薩像	1幅 原（相生町）	平28. 3.25		
	建造物	常宮神社本殿・拝所・中門	3棟 常宮	昭57. 4.23 (通)平21.3.24		
		高德寺本堂	1棟 神楽町2丁目	昭57. 4.23		
		天満神社 本殿・石の間・拝殿	3棟 栄新町	平28. 3.25		
	古文書	西福寺文書	1269点 原	平17. 5. 6		
	考古資料	深山寺経塚出土品	101点 結城町	平24. 3.23		
民俗文化財	有形民俗文化財	色浜の産小屋	1棟 色浜	昭50. 6. 3		
	無形民俗文化財	太鼓踊り（諏訪神社）	間 池河内	昭28. 3.19		
		赤崎獅子舞（八幡神社）	赤崎	昭37. 5.15		
		八幡神社の彼岸祭	間	昭37. 5.15		
		相撲甚句（利祿八幡神社）	阿曾	昭40. 5.18		
		野坂だのせ祭り	野坂	平 6. 5.20		
		沓見御田植祭	沓見	平 20. 2.22		
記念物	史跡	穴地藏古墳	櫛川	昭53.10.11		
		立洞古墳（2号墳）	井川	昭54. 2. 6		
		足壇城跡	疋田	昭29.12. 3		
		洲崎の高燈籠	1基 川崎町	平 4. 5. 1		
		休岩寺のソテツ	7株 大比田	昭29.12. 3		
	天然記念物	彌ノ河内のカツラ	1株 彌河内	昭39. 6. 5		
		明神崎の自生モクゲンジ	1群 明神崎東海岸	平 9. 4.25		

資料：文化振興課

書跡

紙本墨書 般若心経	1巻	三島町1丁目	昭33. 3.28
紙本墨書 長歌 山田正秋書	1幅	三島町1丁目	昭40. 7. 5
紙本墨書 大般若経第二百七十一（仁治二年五月廿二日 沙門長後書写奥書）	1巻	相生町	昭59. 3. 1
紙本墨書 松尾芭蕉色ヶ浜遊記 神戸等裁書	1幅	色浜（相生町）	平元. 3.10

古文書

名称	員数	所在地	指定年月日
秦古文書（正安三年から慶長二年まで）	37通	手	昭29.12.21 (通) 62.4.9
刀根古文書（文明元年から寛永二十一年まで）	116通	江良	昭31. 4. 1 (通) 33.3.28 (通) 62.4.9
永建寺古文書（徳治三年から天文十年まで）	15通	松島町	昭33. 3.28 (通) 62.4.9
善妙寺古文書（嘉慶二年から元亀四年まで）	29通	神楽町1丁目	昭34.10. 5
敦賀馬借座役用記等諸記録 敦賀酒屋仲問文書（天和元年から明治十年まで）	15冊 85点	三島町1丁目 相生町	昭48. 4.16 平13. 7.18

考古資料

名称	員数	所在地	指定年月日
向出山古墳出土品	一括	三島町1丁目	昭34.10. 5
深山寺経塚出土品	2点	三島町1丁目	昭34.10. 5
金ヶ崎経塚出土品	3点	金ヶ崎町	昭34.10. 5
大椋神社経塚出土品	一括	結城町	平28. 6. 1

歴史資料

名称	員数	所在地	指定年月日
紙本着色 氣比神宮古図	1幅	曙町（相生町）	昭29. 4.25
脇差（武田耕雲斎所用）	1口	松原町（相生町）	昭29. 4.25
短刀（菊池千本槍・武田耕雲斎所用）	1口	松原町（相生町）	昭29. 4.25
紙本着色 西福寺古図	1幅	原	昭29. 6.17
竹杖（松尾芭蕉所用）	1本	本町2丁目	昭29.12.21
旧物山藩領巨細書	5冊	三島町1丁目	昭33. 3.28
紙本墨書 大日本史上表副本 唐仁橋山車	1通 1基	三島町1丁目 相生町	昭33. 3.28 昭36. 3.20
紙本墨画 門ヶ崎図 内海元孝筆	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本墨書 俳句・和歌懐紙	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本墨画 燕園画賛 鳥計當筆	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15

◎登録文化財17件　登録有形文化財

区分	名称	員数	所在地	登録年月日
建造物	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 北 棟	1棟	金ヶ崎町	平21. 1. 8
	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 南 棟	1棟	金ヶ崎町	平21. 1. 8
	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 煉瓦堀	1基	金ヶ崎町	平21. 1. 8
	旧敦賀倉庫株式会社 新港第一号・第二号・第三号倉庫	1棟	蓬萊町	平 26. 4.25
	旧北陸線櫻曲トンネル	1基	櫻 曲	平28. 2.25
	旧北陸線葉原トンネル	1基	葉原～阿曾	平28. 2.25
	旧北陸線鈔ヶ谷トンネル	1基	阿曾	平28. 2.25
	旧北陸線踏台谷トンネル	1基	阿曾～杉津	平28. 2.25

年中行事

行事	月日	ところ
敦賀西町の綱引き	1月第3日曜日	相生町
でんからがん	2月1日	常福寺（沓）
野坂だのせ祭り	2月	野坂神社（野坂）
豊沙講	2月～3月	白山神社（高野）
初午祭り	2月～3月	稲荷神社（山）
花換まつり	4月上旬	金崎宮
氣比神社の春祭り	4月第1日曜日	氣比神社（刀根）
白銀神社の火祭り	5月上旬	白銀神社
沓見御田植祭	5月5日	信濃貴彦神社・久豆弥神社（沓見）
御田植祭	6月15日	氣比神宮
大岩大権現祭	6月15日に近い日曜日	疋田
海水浴場海開き	7月	松原海水浴場他

歴史資料

名称	員数	所在地	指定年月日
版画 紙漣図	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
内海元孝画 大名等休泊札及び 加賀藩宿陣札	12枚	三島町1丁目	昭38. 7.15
板絵著色 大江山酒呑童子図絵	1枚	三島町1丁目	昭40. 7. 5
馬 鳴海鶴陰筆			
紙本墨書 船中掟心得書	1巻	三島町1丁目	昭40. 7. 5
定広院墓地の石仏	33軀	疋田	昭42. 8. 9
板絵著色 北前船図絵馬（文化元年紀）	1枚	三島町1丁目	昭42. 8. 9
紙本着色 敦賀町図	1葉	三島町1丁目	昭42. 8. 9
紙本着色 敦賀県管内町図	17葉	三島町1丁目	昭42. 8. 9
敦賀西小学校沿革誌	44冊	結城町	昭42. 8. 9
紙本墨書 敦賀幸若屋敷図	1幅	三島町2丁目	昭46.12.20
陣羽織及び重扇（武田耕雲斎所用）	2点	松原町（相生町）	昭46.12.20
金ヶ辻子山車	1基	相生町	昭46.12.20
紙本墨画 野菜園 一宮長常筆	2枚	三島町1丁目	昭48.4.16
紙本着色 人物花鳥図画帳 橋本守忠筆	1冊	三島町1丁目	昭48. 4.16
紙本着色 武田耕雲斎画像 須木直正筆	1幅	松原町（相生町）	昭48. 4.16
御所辻子山車	1基	元町（相生町）	昭55. 8.15
版本 敦賀名勝詩 清化堂道碩著（元禄五年版）	1冊	相生町	昭59. 3. 1
紙本着色 敦賀津図	1幅	相生町	昭62. 7.20
鐘塚 附 版本 白鳥集 こけら経 附 こけら経片 3枚	1基 1束	公文名（相生町）	平29. 4.17

典籍

名称	員数	所在地	指定年月日
敦賀志 石塚資元著 氣比宮社記 平松周家著	4冊 9冊	三島町1丁目 曙町（相生町）	昭33. 3.28 平20.11.14

○民俗文化財4件

名称	所在地	指定年月日
松島さし踊り	松島町	昭55.11.15
よてな踊り	敦賀市	昭59. 3. 1
氣比神社の春祭り・秋祭り 初午祭り	刀根 山	平10. 1.13 平10. 3.11

○記念物40件

名称	所在地	指定年月日
駐蹕の碑	松島町（松原公園）	昭29.12.21
武田耕雲斎本陣跡	新保	昭34.10. 5
瓜生保戦死の地	櫻曲	昭36. 3.30
明治天皇櫻曲御小休所	櫻曲	昭38. 7.15
衣掛山1号墳	堂	平元. 3.10
市野々柴田氏屋敷	市野々町1丁目	平11. 2. 1
宮山古墳群	山泉	平18. 4.12

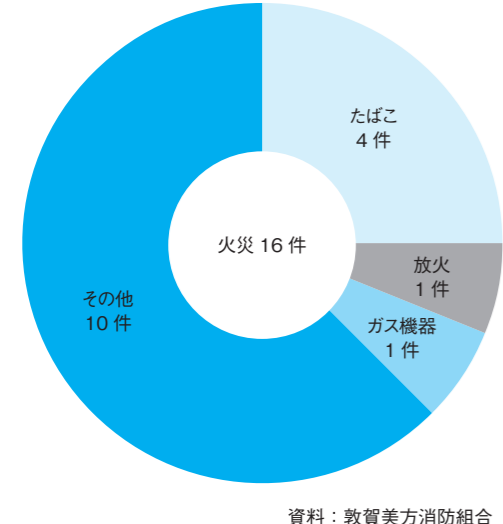
名勝

名称	所在地	指定年月日
幸若遺跡庭園	三島町2丁目	昭31. 4. 1
常宮のオウム岩 門ヶ崎	常宮（西方ヶ岳中腹） 白木	昭34.10. 5 平25. 4.12

天然記念物

名称	所在地	指定年月日
奥麻生・日吉神社のケヤキ	奥麻生	昭31.12.18
長者屋敷のスキ	奥麻生	昭31.12.18
鉄伏山のカツラ	阿曾	昭31.12.18
赤崎・八幡神社のカゴノキ	赤崎	昭31.12.18
金山彦神社のイチョウ	金山	昭31.12.18
金山彦神社のハゼノキ	金山	昭31.12.18
関・八幡神社のツバキ（一群）	関	昭31.12.18
甘藷園のヤマモモ	市野々町1丁目	昭40. 7. 5
永覚寺のイブキ	金ヶ崎町	昭48. 4.16
谷・八幡神社のヤブニッケイ	大比田	昭48. 4.16
谷・八幡神社のスタジイ	谷	昭48. 4.16
奥麻生・菅野氏のイチイ	奥麻生	昭48. 4.16
氣比神社のツガ	刀根	昭48. 4.16
久豆弥神社のスキ（2株）	沓見	昭52. 2.24
曾々木・八幡神社のスキ（2株）	曾々木	昭56.11.19

◎平成29年原因別火災件数 (敦賀市)



資料：敦賀美方消防組合

◎消防関係者数 (平成29年4月1日現在)

Table with 2 columns: Firefighters (153), Fire Members (744 [26] (278 [10]) people)

()内は敦賀市 []内は女性消防団員 資料：敦賀美方消防組合

◎公設消防水利・消火栓数 (敦賀市)

(平成29年4月1日現在)

Table with 3 columns: Fire Hydrants (1,751), Fire Water Tanks (162), Wells (53)

資料：敦賀美方消防組合

◎通信施設等 (平成29年4月1日現在)

Table listing various communication facilities such as mobile phone return lines, disaster alert systems, etc.

()内は敦賀市 資料：敦賀美方消防組合

◎消防用機械 (平成29年4月1日現在)

Table listing fire equipment categories like pumps, extinguishers, and vehicles.

資料：敦賀美方消防組合

◎火災の状況 (敦賀市)

(各年12月31日現在)

Table showing fire statistics by year (25-29) including total incidents, property damage, and casualties.

資料：敦賀美方消防組合

◎救急出動 (敦賀市)

(各年12月31日現在)

Table showing emergency call statistics by year (25-29) for various categories like accidents and illnesses.

資料：敦賀美方消防組合

◎救助出動 (敦賀市)

(各年12月31日現在)

Table showing rescue call statistics by year (25-29) for natural disasters and other incidents.

資料：敦賀美方消防組合

◎交通事故 (各年12月31日現在)

(各年12月31日現在)

Table showing traffic accident statistics by year (25-29) including fatalities and injuries.

資料：生活安全課

◎市の施設

〈市庁舎・関連施設〉

Table listing city facilities including city hall, hospital, and various centers.

※) H30年4月から本町2丁目1-20(南公民館3F)に移転

〈社会教育〉

Table listing social education facilities like libraries and public halls.

◎その他の施設

Table listing other facilities like industry associations and research centers.

〈福祉〉

Table listing welfare facilities like childcare centers and support centers.

〈スポーツ〉

Table listing sports facilities like gyms and tennis courts.

◎県の施設

Table listing prefectural facilities including offices and public buildings.

◎国の施設

Table listing national facilities like local branches of government agencies.

Table listing other national facilities like energy research centers.

年代(西暦)	事項
崇禎65年(前33)	朝鮮任那国の王子、都怒我阿羅新等が来朝した。
成務5年(135) 9月	角鹿国造を定める。またこの頃、角鹿海直が配置された。
仲哀2年(193) 2月	角鹿に行幸あり行宮を興し筈飯宮という。神功皇后は角鹿を發し穴門へ向かわれた。
大宝2年(702) 8月	氣比神宮に仲哀天皇、神功皇后を合祀した。
和銅6年(713) 5月	角鹿の文字を教賀と改めた。
天平3年(731)	越前国正税帳に教賀郡が初めて見える。
延暦23年(804) 6月	この頃、渤海国の使節、相次いで来貢したので松原客館が創置。
延元元年(1336) 10月	後醍醐天皇の皇子、恒良・尊良両親王を奉じて新田義貞が金ヶ崎城にたてこもる。(翌年落城した)
正平23年(1368) 8月	良如、西福寺を建立した。
文安2年(1445) 3月	西福寺に勅願所の宣旨を賜わる。
元龜元年(1570) 4月	織田信長が天筒山城を陥れ、翌日金ヶ崎城を開城した。
天正元年(1573) 8月	朝倉勢は刀根坂で敗れ、足置城、金ヶ崎城が落ち、義景は大野で自害し、信長は武藤舜秀を教賀郡代官とした。
◇ 3年(1575) 8月	織田信長が教賀に入る。翌日、羽柴秀吉・柴田勝家、杉津口に一揆を破った。
◇ 17年(1589)	羽柴秀吉は大谷吉継を教賀城主に任じた。
寛永元年(1624) 3月	教賀郡は一時公領となり、島田右京亮が代官となった。
◇ 11年(1634) 7月	酒井忠勝が小浜城主に任ぜられ、若狭教賀郡・近江国高島郡を支配。
◇ 16年(1639)	このころ西廻り航路が開かれ、入津する荷物は激減した。
正保2年(1645) 7月	氣比神宮の大鳥居を建立した。
元禄2年(1689) 8月	松尾芭蕉来教、16日色ヶ浜に遊ぶ。
享保3年(1718) 12月	町火消しの制を定める。
宝暦6年(1756) 2月	全国人口調査。
明和7年(1770) 6月	大干ばつ、大凶作、近郷48ヶ村民が蜂起、教賀役所に迫った。
文政10年(1827)	教賀米会所を金辻子に置いた。
天保8年(1837) 3月	幸浜町から出火670軒焼失した。
嘉永6年(1853)	150日程雨が降らず、大干ばつとなる。
文久3年(1863)	茶町海岸の砲台場完成、異国船の襲来に備えた。
元氏2年(1865) 2月	武田伊賀守らが、刑場の霧と消えた。
明治4年(1871) 7月	藩を廃止し、教賀県を置く。
◇ 5年(1872) 10月	就将小学校を創置する。学校の初めて明治末の小学校は19校に達した。
◇ 9年(1876) 8月	教賀県を廃し、滋賀県に属した。
◇ 11年(1878) 9月	電信が開始された。
◇ 12年(1879) 5月	郡役所を置き郡長を任命した。
◇ 14年(1881) 2月	福井県が置かれ、教賀は福井県の管轄に入った。
◇ 14年(1881) 7月	立石岬に灯台を設置し、20日から点灯した。
◇ 15年(1882) 3月	教賀・金ヶ崎の両停車場が設置された。
◇ 17年(1884) 4月	教賀～浜浜間の鉄道が開通した。
◇ 19年(1886)	萬象閣を建設し、公会堂とした。(敷地は教賀県当時の区会所の地)
◇ 20年(1887) 5月	小学校が初めて松原で運動会をした。
◇ 21年(1888)	教賀商工会が発足した。
◇ 22年(1889) 4月	町村制実施、泉・津内・三島の3村を教賀町に統合した。
◇ 24年(1891) 5月	ウラジオストクでシベリア鉄道起工式を挙行政した。
◇ 26年(1893) 5月	金崎宮鎮座式が挙行政され、勅使参向。
◇ 28年(1895) 1月	氣比神社官幣大社に昇格。(3月26日に神社を神宮に改称)
◇ 29年(1896) 7月	教賀～森田(福井)間に鉄道が開通する。
◇ 29年(1896) 10月	教賀港、開港外貿易港に指定される。
◇ 29年(1896) 11月	税関出張所開庁、教賀税務署を置く。
◇ 32年(1899) 7月	開港指定、翌年汽船武揚丸、牛莊から大豆、豆かすを初めて直輸入。
◇ 34年(1901) 4月	高等小学校1校、尋常小学校2校設置、商業補習学校も設けられた。
◇ 35年(1902) 2月	日本海命令航路が開設された。
◇ 39年(1906) 6月	町立商業学校が開校。
◇ 39年(1906) 7月	ロシアの東亜汽船が教賀～ウラジオストク直通航路を開設し、1日初入港した。
◇ 40年(1907) 3月	電灯がついた。
◇ 42年(1909) 4月	市内電話が開設。
◇ 45年(1912) 6月	金ヶ崎へ寝台列車が運転開始した。
大正6年(1917) 6月	小浜線の教賀～十村間開通。
◇ 7年(1918) 7月	教賀～清津間を政府命令航路として開始。
◇ 9年(1920) 6月	教賀鉄道棧橋を設置した。
◇ 9年(1920) 10月	第1回国勢調査(人口約38,380人)
◇ 14年(1925)	この年からラジオが聴取され、年々激増していった。
◇ 15年(1926)	ソ連領事館開庁。
◇ 15年(1926)	郡制廃止。
昭和3年(1928)	松原を「氣比の松原」と称し、国の名勝に指定された。
◇ 7年(1932)	松岡主席全権が欧州旅行のため教賀港を出発。
◇ 8年(1933)	大和田莊七翁が町庁舎を新築寄贈した。

年代(西暦)	事項
昭和9年(1934) 12月	東洋紡績(株)教賀工場操業開始。
◇ 12年(1937) 2月	教賀セメント(株)教賀工場操業開始。
◇ 12年(1937) 4月	教賀町、松原村を廃し教賀市が誕生、臨時市長代理者森本一雄氏。
◇ 12年(1937) 6月	森本一雄氏が初代市長に就任。
◇ 13年(1938) 12月	若林義孝氏が第2代市長に就任。
◇ 14年(1939) 10月	じん芥焼却炉竣工。
◇ 15年(1940) 4月	県立教賀中学校開校。
◇ 16年(1941) 4月	末原貴一郎氏が第3代市長に就任。
◇ 17年(1942) 10月	市立図書館開館。
◇ 18年(1943) 12月	湯山火葬場完成。
◇ 19年(1944) 4月	教賀市の農業会が発足。
◇ 20年(1945) 4月	田保仁左衛門氏が第4代市長に就任。
◇ 20年(1945) 7月	空襲により市内中心部2/3以上を焼失。
◇ 21年(1946) 9月	教賀商工会議所が発足。
◇ 22年(1947) 4月	川原興作氏が第5代市長に就任。
◇ 22年(1947) 7月	市内バス(教賀～松原)が開通。
◇ 23年(1948) 4月	県立教賀高等学校(新制)創立。
◇ 24年(1949) 6月	教賀～北海道定期航路が開設され、花咲丸が就航。不二越鋳業(株)教賀工場が操業開始。
◇ 24年(1949) 7月	開港50周年記念行事として「海の祭典」を催す。
◇ 26年(1951) 1月	教賀港が重要港湾に指定される。
◇ 26年(1951) 4月	川原興作氏が第6代市長に就任。
◇ 27年(1952) 4月	日本ビーエスコンクリート(株)操業開始。
◇ 27年(1952) 5月	市制施行15周年記念式を行う。
◇ 28年(1953) 11月	漁港船だまり工事竣工。
◇ 30年(1955) 1月	近隣5ヶ村を編入合併し、新市が誕生。
◇ 30年(1955) 4月	畑守三四治氏が第7代市長に就任。
◇ 31年(1956) 4月	旧市内132町内を46町に整理統合。
◇ 32年(1957) 10月	教賀～米原間の新線と交流電化開通。
◇ 33年(1958) 6月	日本～ナホトカ定期航路寄港地に指定。
◇ 33年(1958) 10月	全市に国民健康保険を実施。
◇ 34年(1959) 4月	畑守三四治氏が第8代市長に就任。
◇ 36年(1961) 1月	呉羽紡績(株)ナイロン工場の誘致を決定。
◇ 36年(1961) 2月	文化会館が完成。
◇ 36年(1961) 7月	衛生処理場完成。
◇ 37年(1962) 2月	国鉄との間に温泉利用権の契約締結。
◇ 37年(1962) 4月	県立教賀工業高等学校開校。
◇ 37年(1962) 6月	北陸トンネル(13.87km)が完成。(教賀～福井間が電化開通)
◇ 37年(1962) 7月	教賀有料道路開通。
◇ 37年(1962) 10月	東洋紡績(株)ポリプロピレン工場誘致決定。
◇ 37年(1962) 11月	教賀半島に原子力発電所の建設予定地決定。
◇ 38年(1963) 1月	教賀半島が若狭湾固定公園に編入される。
◇ 38年(1963) 1月	未曾有の豪雪(積雪154cm)のため、市に雪害対策本部を設置。
◇ 38年(1963) 3月	市立教賀病院改築工事竣工。
◇ 38年(1963) 4月	畑守四三治氏が第9代市長に就任。
◇ 38年(1963) 6月	永大産業(株)教賀工場の誘致を決定。
◇ 38年(1963) 9月	1万トン岸壁改修完成。
◇ 39年(1964) 1月	温泉の名称を「教賀トンネル温泉」と命名。
◇ 39年(1964) 4月	市内6農協が合併。
◇ 39年(1964) 5月	柳ヶ瀬線が80年の歴史を閉じて廃線。
◇ 39年(1964) 9月	教賀トンネル温泉簡易水道配湯構造物工事及び配管工事竣工。通水式挙行政。
◇ 39年(1964) 12月	市内7漁協が合併。
◇ 40年(1965) 4月	水戸市と姉妹都市盟約締結。
◇ 40年(1965) 5月	市立北幼稚園を開園。
◇ 41年(1966) 8月	教賀電報電話局舎が完成し、ダイヤル式自動となる。
◇ 41年(1966) 11月	教賀港湾合同庁舎が完成。
◇ 42年(1967) 3月	上水道第1次工事完成。
◇ 42年(1967) 4月	市制施行30周年記念式を行う。
◇ 43年(1968) 5月	矢部知恵夫氏が第10代市長に就任。
◇ 43年(1968) 7月	杉津・横浜海岸が越前加賀国定公園に指定される。
◇ 43年(1968) 7月	市立体育館が竣工。
◇ 43年(1968) 8月	動力炉・核燃料開発事業団が教賀半島の原電サイトを「新型転換炉」の建設候補地に選定。
◇ 43年(1968) 9月	日本ニッケル教賀工場操業を開始。
◇ 43年(1968) 10月	第23回国体バレーボールと軟式野球競技を本市で開催。天皇・皇后両陛下ご来教。
◇ 43年(1968) 11月	港大橋竣工。
◇ 43年(1968) 12月	ソ連邦極東知事団教賀港視察。
◇ 44年(1969) 5月	市長ら一行4人、ソ連沿岸州等を訪問。
◇ 44年(1969) 8月	大型フェリーの教賀寄港内定。開港70周年記念「つるがまつり」を開催。
◇ 44年(1969) 10月	日本原子力発電(株)教賀発電所1号機臨界。
◇ 44年(1969)	この年入港ソ連船が61隻に達し、開港以来の新記録となる。

年代(西暦)	事項
昭和45年(1970) 3月	日本原子力発電(株)教賀発電所が営業運転をはじめ。
◇ 45年(1970) 6月	麻生口にごみ焼却場竣工。
◇ 45年(1970) 7月	嶺南地区広域市町村圏が地方生活圏に指定される。
◇ 45年(1970) 8月	大型フェリー「すずらん丸」の就航記念式と川崎・松栄A岸壁工事竣工式を行う。
◇ 45年(1970) 10月	北陸自動車道(高野～滋賀栗柳ヶ瀬)路線発表。
◇ 45年(1970) 11月	教賀美方消防組合本部発足。
◇ 45年(1970) 12月	動力炉・核燃料開発事業団の新型転換炉「ふげん」起工式。
◇ 46年(1971) 3月	西浦小立石分校・西愛発小駄口分校廃校。
◇ 46年(1971) 4月	矢部知恵夫氏が第11代市長に就任。「養護老人ホーム」改築と「老人いこいの家」新築。
◇ 46年(1971) 7月	訪ソ青年の船出航。
◇ 46年(1971) 10月	原子力問題と自治調査団に市長・市議ら5人欧米視察に参加。
◇ 47年(1972) 3月	児童養護施設慈松園改築完成。
◇ 47年(1972) 4月	財団法人「福井原子力センター」発足。
◇ 47年(1972) 5月	「科学技術庁福井原子力連絡調整官事務所」設置される。
◇ 47年(1972) 7月	戦後初の対ソ運輸出品(繊維)積出し。松原小学校・ハバロフスク市第47小学校と日ソ愛鳥姉妹校に決定。
◇ 47年(1972) 8月	市営第1プール完成。
◇ 47年(1972) 9月	県水産試験場浦底に移転。
◇ 47年(1972) 10月	市の乳児医療費の支給制度開始。
◇ 47年(1972) 11月	北陸トンネル列車火災発生、市に災害救援対策本部設置される。
◇ 47年(1972) 12月	木崎保育園が開園。
◇ 48年(1973) 3月	五幡小学校廃校。
◇ 48年(1973) 4月	重症児童園施設松原児童館開館。栗野公民館完成。
◇ 48年(1973) 5月	市長日朝友好福井県代表団として朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。
◇ 48年(1973) 6月	PCB汚染対策本部設置される。中郷公民館完成。
◇ 48年(1973) 7月	O・A・トロヤノフスキー駐日ソ連大使来教。湖西線(山科～近江塩津間)開通し、北陸本線に接続。
◇ 48年(1973) 9月	南小学校校舎の全面改築工事完成。
◇ 48年(1973) 10月	川崎・松栄岸壁に鉋石上屋8.5トクレーン完成。
◇ 48年(1973) 11月	北陸新幹線整備計画決定。(若狭ルートに決まる)
◇ 49年(1974) 3月	上水道第2次工事完成。教賀平野一体に給水可能。つるが保育園完成。
◇ 49年(1974) 4月	桜ヶ谷公園完成。
◇ 49年(1974) 5月	公共下水道の基本計画決まる。
◇ 49年(1974) 5月	原子力発電訓練センター竣工式。
◇ 49年(1974) 6月	東郷公民館が完成。
◇ 49年(1974) 8月	市営第2プール完成。
◇ 49年(1974) 9月	国民健康保険東浦診療所開設。(阿曾)
◇ 49年(1974) 9月	旧市庁舎の閉庁式を行う。
◇ 49年(1974) 11月	新市庁舎竣工と5ヶ村合併20周年の記念式典を行う。教賀美方消防組合の本部庁舎竣工。
◇ 50年(1975) 3月	国鉄湖西線が全面開通。
◇ 50年(1975) 4月	国民健康保険東浦診療所大比田に移転新築。松原公民館が開館。栗野保育園が開園。
◇ 50年(1975) 7月	市営と畜場が全面改築完成。矢部知恵夫氏が第12代市長に就任。
◇ 50年(1975) 12月	市の人口が6万人を突破。愛発公民館が完成。
◇ 51年(1976) 2月	相生町商店街アーケード完成により教賀駅前からのアーケード総延長2,788mとなる。
◇ 51年(1976) 2月	教賀～ワニ間の定期貨物配船第一船が入港。
◇ 51年(1976) 3月	ごみ焼却場30トン増設工事完成。
◇ 51年(1976) 4月	栗野南小学校開校。櫛川保育園が開園。
◇ 51年(1976) 5月	大学・高校誘致期成同盟会設立総会開く。
◇ 51年(1976) 7月	第1回福井県婦人の船および訪ソ青年の船が出港。市民文化センター建設のため旧市庁舎の借別式を行う。
◇ 51年(1976) 8月	市長ら福井県ソ連邦極東地方港湾調査団は港湾調査および姉妹都市連携の議定書を交わす。福井県原子力センター落成。
◇ 51年(1976) 10月	教賀港の異常潮位(108cm)で市に水防本部を設置。教賀～ワニ間の定期貨物配船が月2便に増便。
◇ 52年(1977) 1月	積雪が136cmを記録し、昭和38年以来の豪雪となる。
◇ 52年(1977) 3月	青少年健全育成都市宣言を行う。
◇ 52年(1977) 4月	市立図書館が移転新築し完成。
◇ 52年(1977) 7月	市民福祉会館の竣工式を行う。

年代(西暦)	事項
昭和52年(1977) 8月	教賀市高校新設準備委員会が発足。
◇ 52年(1977) 9月	教賀港とヴオストーチヌイ港の姉妹港盟約締結の調印式を行う。
◇ 52年(1977) 11月	市民文化センターが完成し、市制40周年・市民文化センター落成記念式典を行う。
◇ 52年(1977) 12月	北陸自動車道の教賀～武生間開通式を行う。新総合計画の策定。
◇ 53年(1978) 3月	初の国産発電用原子炉「ふげん」臨界。金ヶ崎(天筒山)公園展望台完成。
◇ 53年(1978) 4月	岡山、訪生野公園が完成。市民健康センター(休日急患センター、母子健康センター)落成。
◇ 53年(1978) 5月	青少年錬成センター竣工。
◇ 53年(1978) 6月	教賀・韓国北坪青年会議所姉妹盟約締結。
◇ 53年(1978) 7月	経済友好訪中視察団中国訪問。栗野南小学校総合落成式を行う。
◇ 53年(1978) 8月	市営野球場ナイター施設完成(栗野、角鹿中学校にも完成)。
◇ 53年(1978) 9月	歴史民俗資料館開館。教賀駅周辺整備連絡協議会発足。
◇ 53年(1978) 11月	第7回水産増殖に関する日ソ合同シンポジウム開催。河野海岸有料道路開通。
◇ 53年(1978) 11月	教賀高等学校校舎改築竣工。
◇ 54年(1979) 4月	松陵幼稚園開園。市営上屋竣工式を行う。一般廃棄物最終処分場竣工。高木孝一氏が第13代市長に就任。
◇ 54年(1979) 5月	中日友好使節団来教。
◇ 54年(1979) 7月	市営庭球場竣工、国際児童年記念訪ソ少年の船出航。
◇ 54年(1979) 8月	少年自然の家竣工。
◇ 54年(1979) 9月	開港80周年記念式典。ソ連邦ナホトカ市民親善友好使節団来教(195人)
◇ 54年(1979) 11月	新港建設の調査始まる。成小中学校池ノ河内分校校舎完成。
◇ 54年(1979) 11月	市長ら韓国親善訪問団一行東海市生誕祝賀式に出席姉妹都市縁組の議定書に調印。北陸自動車道教賀～米原間開通。岡山保育園開園。
◇ 54年(1979) 11月	資源エネルギー庁教賀美浜管理専門官事務所開設。勤労青少年ホーム落成。
◇ 55年(1980) 5月	子どもの国(児童文化センターなど)竣工。中央公民館竣工。市民憲章の制定。
◇ 55年(1980) 7月	第三次市総合計画基本構想市長に答申。
◇ 55年(1980) 7月	気比中学校校舎総合落成式。
◇ 55年(1980) 8月	市営第3プール完成。石炭火力発電所誘致構想発表。中国国際貿易促進委員会王耀庭氏ら一行来教。
◇ 55年(1980) 10月	第1回教賀マラソン開く。帆船「海王丸」寄港一般公開。
◇ 55年(1980) 11月	教賀美方消防組合発足10周年記念式典。日本原子力発電(株)教賀発電所2号機建設に係る公開ヒアリング。
◇ 55年(1980) 12月	電子計算機本稼働。
◇ 56年(1981) 1月	56豪雪積雪198cmを記録(明治30年教賀測候所開設以来最高)
◇ 56年(1981) 3月	第三次総合計画の策定。駅前広場改修工事完成。
◇ 56年(1981) 4月	韓国東海市との姉妹都市盟約締結調印式。
◇ 56年(1981) 5月	日本原子力発電(株)教賀発電所の放射能漏えい事故。新和保育園落成。
◇ 56年(1981) 6月	金山バイパス(岡山～野神間)開通式。松原小学校校舎改築総合落成式。
◇ 56年(1981) 7月	新教賀瓦斯「教賀ガス」として再スタート。黒河小学校校舎改築総合落成式。松陵中学校校舎改築総合落成式。
◇ 56年(1981) 8月	櫛川保育園開園。
◇ 56年(1981) 9月	置県100年記念で小浜線に蒸気機関車走る。ソ連邦ナホトカ市民親善使節団一行200人來教。
◇ 56年(1981) 11月	南極観測船「ふじ」入港一般公開。第17回全日本菊花連盟全国大会開催。葉原保育園開園。
◇ 56年(1981) 12月	ポリヤンスキー駐日ソ連邦大使来教。北陸電力(株)「石炭火力発電所」建設のための環境調査申し入れ。
◇ 57年(1982) 1月	新港湾建設工事の起工式。
◇ 57年(1982) 3月	初めての中国炭定期配船「サン・アルケス号」1万165トンが入港。
◇ 57年(1982) 4月	中央小学校開校。気比保育園移転改築完成。

年代 (西暦)	事 項
昭和57年 (1982) 4月	日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機着工。
◇ 57年 (1982) 7月	高速増殖原型炉「もんじゅ」公開ヒアリング開催。
◇ 57年 (1982) 9月	防災行政無線設置。
◇ 57年 (1982) 10月	ソ連邦ナホトカ市において姉妹都市盟約締結調印。
◇ 57年 (1982) 11月	中央小学校総合落成式。
◇ 58年 (1983) 2月	笙の川に中央橋完成。
◇ 58年 (1983) 3月	二夜の川都市下水道「松島ポンプ場」完成。第1回市民綱引き大会開く。三島保育園を廃止し三島南保育園を三島保育園に。敦賀市福祉基金設置。岡山保育園を中郷保育園に改称。
◇ 58年 (1983) 4月	津内保育園と乳児保育園を統合し本町保育園が開園。高木孝一氏第14代市長に就任。
◇ 58年 (1983) 5月	第1回親子のフェスティバル開く。浩宮殿下若狭路(本市では西福寺・柴田氏庭園)を訪問。国立療養所敦賀病院の改築工事完成。高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可。
◇ 58年 (1983) 7月	公共下水道供用開始。天筒浄化センター完成通水式。第1回市民すてな祭り開く。
◇ 58年 (1983) 9月	ソ連邦ナホトカ市に姉妹都市盟約調印記念として日本庭園を造る。「広報つるが」500号を迎える。ソ連邦ナホトカ市民親善使節団来敦。移動図書館「なかよし号」巡回サービス開始。
◇ 58年 (1983) 12月	三島会館移転新築完成。北電「石炭火力発電所」建設に同意。
◇ 59年 (1984) 3月	西愛発小・中愛発小・東愛発小が廃校に。
◇ 59年 (1984) 4月	愛発小・中学校開校。学校給食センター完成。東浦体育館竣工。
◇ 59年 (1984) 5月	敦賀市訪ソ親善使節団派遣。
◇ 59年 (1984) 6月	愛発小・中学校総合落成式。北小学校総合落成式。
◇ 59年 (1984) 7月	成新小学校プール・校舎落成式。第1回敦賀少年の船派遣。学校法人敦賀学園敦賀女子短期大学設置認可申請書提出。
◇ 59年 (1984) 9月	新港(鞆山北地区)の公有水面埋立免許。韓国東海市から親善使節団来敦。
◇ 59年 (1984) 10月	追悼120年水戸烈士展開催。
◇ 59年 (1984) 11月	敦賀市公設地方卸売市場開場。
◇ 60年 (1985) 3月	白木トンネルが開通する。栗野小学校・沓見小学校増改築工事が完成。ナホトカ市から友好親善と日本料理研究のため使節団が来敦。中央港湾審議会が敦賀港新港湾計画の変更が認められる。
◇ 60年 (1985) 4月	敦賀・北坪定期フェリー早期就航促進期成同盟会が設立。
◇ 60年 (1985) 6月	敦賀市史通史編上巻発刊。第2次日韓親善友好訪韓船で約400人が韓国を訪れる。
◇ 60年 (1985) 9月	気比神宮、昭和の大造営始まる。ナホトカ市民親善使節団が来敦。
◇ 60年 (1985) 10月	高速増殖原型炉「もんじゅ」建設工事が始まる。
◇ 60年 (1985) 11月	第1回福井県菊花大会が本市で開かれる。中国黒龍江省賓県、鶏西市から使節団が来敦。東海市北坪・敦賀定期フェリー早期就航推進委員会一行が来敦。
◇ 60年 (1985) 12月	敦賀女子短期大学、敦賀気比高校設置認可される。
◇ 61年 (1986) 1月	「西町の綱引き」国の重要無形文化財に指定される。
◇ 61年 (1986) 3月	公共下水道事業第2期計画(笙の川以西約250ha)事業許可を受ける。葉原小学校・西小学校増改築工事が完成。中郷小学校・栗野中学校増築工事が完成。
◇ 61年 (1986) 4月	敦賀女子短期大学開学。敦賀気比高等学校開校。松原保育園が完成。
◇ 61年 (1986) 5月	復元北前船「辰悦丸」が寄港し、一般公開される。日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機初臨界。
◇ 61年 (1986) 7月	敦賀工業高等学校総合完成式。敦賀市友好訪中使節団一行が中国東北部を訪問。第1回訪ソ児童親善使節団がナホトカを訪問。
◇ 61年 (1986) 8月	皇太子ご夫妻が若狭路をご訪問、中央公民館での国際フォーラムにご出席される。
◇ 61年 (1986) 12月	福井厚生年金健康福祉センター「サンビア敦賀」オープン。

年代 (西暦)	事 項
昭和62年 (1987) 2月	日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機営業運転を始める。
◇ 62年 (1987) 3月	西浦小・中学校落成式。健康管理センターが完成。県道柳ヶ瀬トンネル開通式。
◇ 62年 (1987) 4月	総合運動公園陸上競技場の竣工式を行う。高木孝一氏が第15代市長に就任。
◇ 62年 (1987) 5月	気比神宮の本殿などが完成し、正遷座祭、奉幣祭が行われる。
◇ 62年 (1987) 7月	敦賀(中～坂ノ下)・金山(坂ノ下～岡山)バイパスが開通。市制50周年を記念し野坂山市民登山が行われる。市制50周年記念のシンボル塔「翔(はばた)き」が完成。
◇ 62年 (1987) 8月	総合運動公園野球場竣工式。ナホトカ市民親善使節団が来敦。気比神宮大鳥居保存修理完成。市立敦賀病院の増改築工事が完成。
◇ 62年 (1987) 10月	市制50周年記念式典を行う。
◇ 62年 (1987) 11月	敦賀新港公共岸壁の一部を併用開始。
◇ 63年 (1988) 2月	敦賀女子短期大学第2代学長に瀬戸内寂聴さんが就任する。敦賀気比高等学校付属中学校が開校。常宮小学校落成式が行われる。東浦小・中学校落成式が行われる。
◇ 63年 (1988) 4月	プロ野球セ・リーグ公式戦(中日対ヤクルト)が行われる。北陸電力㈱敦賀火力発電所起工式が行われる。
◇ 63年 (1988) 5月	総合運動公園ちびっ子広場、多目的広場が供用開始となる。敦賀西小学校プールの竣工式を行う。
◇ 63年 (1988) 6月	敦賀南小学校・中郷小学校プール竣工式を行う。
◇ 63年 (1988) 7月	第3セクター嶺南ケーブルネットワーク(都市型CATV)発足。
◇ 63年 (1988) 8月	気比神宮大鳥居の夜間照明が始まる。
◇ 63年 (1988) 10月	水戸天狗党ウォーク一行が水戸市より1,100kmを歩き新保に到着。駅前にはガス灯が設置される。角鹿中学校屋内運動場完成。
◇ 63年 (1988) 12月	心身障害者福祉センター「太陽の家」落成式を行う。
平成元年 (1989) 3月	総合運動公園テニスコート・ちびっ子グラウンド完成。
◇ 元年 (1989) 4月	気比神宮昭和の大造営第2期工事竣工奉告祭が営まれる。
◇ 元年 (1989) 5月	総合運動公園に日本庭園の修景池が完成。
◇ 元年 (1989) 6月	開港90周年記念式典。
◇ 元年 (1989) 7月	第4次敦賀市総合計画基本構想答申。
◇ 元年 (1989) 9月	岐阜県各務原市との友好都市盟約締結。
◇ 元年 (1989) 10月	CATV本放送開始。
◇ 元年 (1989) 11月	第4次敦賀市総合都市計画基本計画答申。
◇ 2年 (1990) 1月	敦賀港ポータルネッサンス21調査委員会の最終案まとまる。
◇ 2年 (1990) 2月	敦賀北幼稚園と北公民館竣工。縄間2号線(県道佐田・立石・敦賀線)開通。
◇ 2年 (1990) 4月	沓見小学校プール竣工。動力炉・核燃料開発事業団PR館アトムプラザ完成。県道敦賀～今庄線、舞崎踏切に信号機設置。
◇ 2年 (1990) 6月	水戸烈士記念館(にしん蔵)修復完成。
◇ 2年 (1990) 9月	敦賀～釜山間定期コンテナ船第一船入港。
◇ 2年 (1990) 10月	御船遊管絃祭(金崎宮)が48年ぶりに復活。プラザ萬象落成記念式典。
◇ 2年 (1990) 11月	市立敦賀病院に超電導MRIシステム導入。
◇ 3年 (1991) 1月	ソ連ワノノ港からの定期配船復活第一船入港。
◇ 3年 (1991) 2月	沓見保育園の改築移転。全日本バレーボール(日本リーグ)敦賀大会。敦賀新港供用開始。
◇ 3年 (1991) 3月	国道8号線局所改良開通(小河口～疋田間)。
◇ 3年 (1991) 4月	総合運動公園体育館竣工。高木孝一氏第16代市長に就任。
◇ 3年 (1991) 5月	環にほん海(東海)国際芸術祭が開催。
◇ 3年 (1991) 7月	産業経済部に国際交流貿易課を新設。葉原小学校プール竣工。敦賀市民間廃棄物最終処分場対策協議会設立。
◇ 3年 (1991) 8月	市立図書館落成オープン。福井県対岸貿易促進協会敦賀事務所開所。
◇ 3年 (1991) 9月	北陸電力㈱敦賀火力発電所営業運転開始。
◇ 3年 (1991) 10月	沼みゆの5分別収集が始まる。
◇ 3年 (1991) 11月	新港で大型多目的クレーンの起動式を行う。清掃センター火入れ式。
◇ 4年 (1992) 2月	西公民館開館。
◇ 4年 (1992) 3月	敦賀市清掃センター総合落成。消防緊急通信指令システム運用開始。

年代 (西暦)	事 項
平成 4年 (1992) 4月	南公民館開館。
◇ 4年 (1992) 5月	「洲崎の高燈籠」が福井県史跡に指定される。赤崎小学校落成。
◇ 4年 (1992) 6月	敦賀市友好親善使節団派遣(ナホトカ市で花火大会開催)。山形依希子さん(敦賀高校3年)が陸上・女子400障害で57秒65の日本新記録樹立。
◇ 4年 (1992) 7月	総合運動公園ローラー滑り台竣工。白木漁港完成。東浦小学校プール竣工。CATV全市内工事完成。
◇ 4年 (1992) 8月	地縁団体の認可指令書第1号交付式(津内町3丁目)。
◇ 4年 (1992) 10月	気比神宮御造営事業竣工。
◇ 4年 (1992) 11月	工芸品「孔雀鍍金経箱」(西福寺所有)が重要文化財に答申される。
◇ 5年 (1993) 1月	旧大和田銀行本店(市立歴史民俗資料館)、常宮神社のフジ、劍神社のカゴノキを市文化財に指定。
◇ 5年 (1993) 3月	金山保育園落成。
◇ 5年 (1993) 4月	昭和浄水場第2配水池完成。一般国道27号線金山バイパス開通。北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機増設計画の申し入れ。市立和幸園増改築工事完成。
◇ 5年 (1993) 5月	国際交流嶺南センター開所。
◇ 5年 (1993) 6月	JC青年の船「環日本海号」ロシア派遣。
◇ 5年 (1993) 7月	在日外国人高齢者福祉手当支給開始。市立歴史民俗資料館が市立博物館に名称変更。総合運動公園ゲートボール場竣工。
◇ 5年 (1993) 8月	大阪ガス㈱敦賀LNG基地計画環境調査の実施について申し入れ。
◇ 5年 (1993) 10月	北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機・大阪ガス㈱敦賀LNG基地計画環境調査開始。
◇ 5年 (1993) 11月	原子力発電所の新設・増設に関する住民投票条例制定を求める請求が提出され、12月に開かれた市議会臨時会で否決となる。
◇ 6年 (1994) 1月	敦賀市富苑工事安全祈願祭。
◇ 6年 (1994) 2月	橋本進吉博士顕彰歌碑の除幕式。
◇ 6年 (1994) 3月	市立看護専門学校落成式。公立敦賀準看護学院閉校式。
◇ 6年 (1994) 4月	高速増殖原型炉「もんじゅ」臨界。敦賀市老人デイサービス事業開始。
◇ 6年 (1994) 7月	新規コンテナ航路就航記念式典。
◇ 6年 (1994) 8月	敦賀市総合運動公園円道場竣工。日韓スポーツ交流大会開会式。
◇ 6年 (1994) 11月	'94ふくい国際芸術祭・国際交流広場・民俗芸能大会。高規格救急自動車・救急救命士業務運用開始式。市立敦賀病院東診療棟竣工式。
◇ 6年 (1994) 12月	神楽町1丁目・本町1丁目アーケード起工式。敦賀市栗野スポーツセンター落成式。敦賀港金ヶ崎地区岸壁工事着手。
◇ 7年 (1995) 1月	阪神・淡路大震災の災害見舞救援物資搬送。
◇ 7年 (1995) 2月	敦賀斎苑竣工式。
◇ 7年 (1995) 4月	河瀬一治氏第17代市長に就任。
◇ 7年 (1995) 7月	金山体育館起工式。
◇ 7年 (1995) 8月	第77回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高校ベスト4進出。
◇ 7年 (1995) 12月	敦賀港が「港湾景観形成モデル事業」に指定される。松原海岸が「事前環境保全型海岸整備モデル事業」に認定される。
◇ 8年 (1996) 2月	防災対策室を設置し、各務原市・向日市と災害時相互応援協定を締結。
◇ 8年 (1996) 3月	高速増殖原型炉「もんじゅ」二次系ナトリウム漏えい事故発生。敦賀市雪害対策本部が12年ぶりに設置される。
◇ 8年 (1996) 5月	一般国道476号線・国道8号バイパス17工区開通。敦賀～大連・青島港(中国)間定期コンテナ航路開設。
◇ 8年 (1996) 6月	姉妹都市韓国東海市へ「敦賀市民の船」派遣。超高速フェリー「すずらん・すいせん」就航。「敦賀市行政改革大綱」策定。「原子力政策円卓会議」敦賀市で開催。
◇ 8年 (1996) 8月	第5次敦賀市総合計画基本構想答申。
◇ 8年 (1996) 9月	街あかり創出事業道路照明灯点灯開始。
◇ 8年 (1996) 12月	敦賀～丹東港(中国)間定期コンテナ航路開始。近畿自動車道敦賀線全線整備計画決定。
◇ 9年 (1997) 1月	ロシアタンカー油流出事故敦賀市災害対策本部設置。
◇ 9年 (1997) 2月	第5次敦賀市総合計画基本計画答申。
◇ 9年 (1997) 3月	シンボルロード化整備事業の工事が着手される。北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機の起工式が行われる。中郷体育館落成式。

年代 (西暦)	事 項
平成 9年 (1997) 4月	「緊急告知放送」が「防災放送」へ切り替えられ、内容が充実された。
◇ 9年 (1997) 5月	「みなとつるが山車会館」開館。1ヶ月足らずで1万人達成。敦賀市インターネットホームページ開設。敦賀～上海港(中国)間定期コンテナ航路開設。敦賀港開港100周年記念事業実行委員会設立。
◇ 9年 (1997) 6月	市制施行60周年記念「スーパーバレーボール大会」開催。嶺南広域行政組合設置。
◇ 9年 (1997) 7月	第79回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高校ベスト8進出。
◇ 9年 (1997) 8月	市制60周年記念式典開催。
◇ 9年 (1997) 11月	市営松原海水浴場「日本の海水浴場55選」に認定される。
◇ 9年 (1997) 12月	プール完成で「総合運動公園」総合完成。
◇ 10年 (1998) 3月	ハートフル・スクール(集団生活適応指導、教育相談)開所。
◇ 10年 (1998) 4月	J24全日本選手権敦賀大会開催。
◇ 10年 (1998) 5月	コミュニケーション「はぎ号」運行開始。バスケットボール日本リーグ(女子)敦賀大会開催。全国原子力発電所所在市町村協議会創設30周年記念事業開催。
◇ 10年 (1998) 6月	敦賀市防災総合訓練実施。
◇ 10年 (1998) 7月	福井県若狭湾エネルギー研究センター落成式。
◇ 10年 (1998) 8月	近畿自動車道敦賀線全線施工命令が出される。
◇ 10年 (1998) 9月	五木ひろしさんによる開港100周年イメージソング発表会(3曲)開催。
◇ 10年 (1998) 10月	鞆山南地区多目的国際ターミナル起工式。福祉総合センター「あいあいプラザ」落成式。近畿自動車道敦賀線(小浜～敦賀間)中心杭打式。中郷スポーツ広場竣工。
◇ 10年 (1998) 11月	25年ぶりに「大相撲敦賀場所」開催。
◇ 10年 (1998) 12月	情報公開及び個人情報保護制度答申。
◇ 11年 (1999) 1月	河瀬一治氏第18代市長に就任。シンボルロードに彫刻像設置。
◇ 11年 (1999) 2月	日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機一次冷却水漏えい事故発生。
◇ 11年 (1999) 3月	敦賀～新潟～秋田～苫小牧に定期フェリー就航。敦賀港開港100周年記念事業「つるがきらめきみなと博21」開催。
◇ 11年 (1999) 4月	中国台州市と友好協議書調印。
◇ 11年 (1999) 5月	敦賀高校が19年ぶりに夏の甲子園出場。
◇ 11年 (1999) 6月	大阪ガス㈱がLNG基地計画の10年延期を発表。
◇ 11年 (1999) 7月	きらめきみなと館オープン。
◇ 11年 (1999) 8月	情報公開制度スタート。
◇ 11年 (1999) 9月	北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機火入れ式。市民温泉施設温泉掘削工事安全祈願祭。
◇ 11年 (1999) 10月	日本原子力発電㈱敦賀発電所3・4号機増設事前了承願受理。
◇ 11年 (1999) 11月	初の住民参加による原子力防災訓練実施。
◇ 11年 (1999) 12月	介護保険制度スタート。
◇ 12年 (2000) 1月	きらめきスタジアム落成式。
◇ 12年 (2000) 2月	民間廃棄物最終処分場の早期終息についての要望書を知事へ提出。
◇ 12年 (2000) 3月	敦賀市から初めての衆議院議員(高木 毅氏)誕生。
◇ 12年 (2000) 4月	北陸新幹線(南越(仮称)・敦賀間)環境影響評価準備書公告。
◇ 12年 (2000) 5月	民間廃棄物最終処分場問題対策協議会発足。
◇ 12年 (2000) 6月	防災公園(松島中央公園)完成。
◇ 12年 (2000) 7月	栗野公民館落成式。都市計画マスタープランまとまる。
◇ 12年 (2000) 8月	もんじゅ工事計画事前了承願受理。
◇ 12年 (2000) 9月	「敦賀市雪害対策本部設置」(積雪95cm)。
◇ 12年 (2000) 10月	敦賀市役所がISO14001の認証を取得。
◇ 12年 (2000) 11月	敦賀警察署神宮前警察交番が完成。
◇ 12年 (2000) 12月	敦賀消防署気比分遣所庁舎が気比神宮前へ移転。敦賀港外国貿易定期コンテナ航路の増便。敦賀港～釜山港間 1便増。
◇ 13年 (2001) 1月	敦賀市水道水源保護条例公布。
◇ 13年 (2001) 2月	中国浙江省台州市と姉妹都市提携調印。
◇ 13年 (2001) 3月	敦賀港CFS(コンテナフレイトステーション)竣工。
◇ 13年 (2001) 4月	福井県敦賀原子力防災センター(オフサイトセンター)開設。
◇ 13年 (2001) 5月	黒河保育園落成式。
◇ 13年 (2001) 6月	第5次敦賀市総合計画第2期基本計画策定。第3次敦賀市行政改革大綱策定。大阪ガス㈱敦賀LNG基地建設計画の中止を決定。
◇ 13年 (2001) 7月	近海郵船㈱「ROBO船」敦賀～苫小牧に航路開設。

年代(西暦)	事 項
平成14年(2002) 7月	港都つるが株式会社設立。
◇ 14年(2002) 8月	住民基本台帳ネットワークシステム稼働。 東郷コミュニティセンター落成式。 近畿自動車道敦賀線設計協議調印。
◇ 14年(2002) 10月	敦賀～青島港間直行航路開設。
◇ 14年(2002) 11月	衛生処理場クリーンピア落成。 JR湖西線・北陸本線直流化基本合意調印。
◇ 14年(2002) 12月	敦賀きらめき温泉リラ・ポートオープン。 日本原子力発電㈱敦賀発電所3・4号機増設計画事前了解。
◇ 15年(2003) 1月	高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可無効の判決。
◇ 15年(2003) 2月	戸籍総合システム稼働。
◇ 15年(2003) 3月	JR小浜線電化開業。 敦賀港「金ヶ崎臨港トンネル」および「金ヶ崎緑地」供用開始。 新型転換炉原型炉「ふげん」発電所運転終了。
◇ 15年(2003) 4月	河瀬一治氏第19代市長に就任。
◇ 15年(2003) 6月	生涯学習センターオープン。
◇ 15年(2003) 7月	西公民館を元中央公民館へ移転。
◇ 15年(2003) 9月	新型転換炉原型炉「ふげん」開発業務終了。
◇ 15年(2003) 10月	JR湖西線・北陸本線直流化工事着工。
◇ 16年(2004) 3月	粟野駅併設施設オープン(JR粟野駅)。 国道476号木ノ芽峠トンネル開通式(敦賀市新保～今庄町上坂取)。
◇ 16年(2004) 4月	敦賀市男女共同参画推進条例施行。
◇ 16年(2004) 5月	杵見地区のお田植祭りが18年ぶりに復活。
◇ 16年(2004) 6月	JR直流化活性化・利用促進協議会設立。 敦賀市指定文化財新指定 国立福井病院のユウカリの木 1株。 「洪水ハザードマップ」全戸配布。
◇ 16年(2004) 7月	日本原子力発電㈱敦賀発電所3・4号機工事着工。
◇ 16年(2004) 8月	国道8号バイパス19工区本格着工。
◇ 16年(2004) 10月	つるが・みなと浪漫(若狭路もてなし「食」フェア)につるが・つるが観光物産フェア(2004)。
◇ 16年(2004) 11月	敦賀市子育て総合支援センター開所。 北陸新幹線南越敦賀間工事実施計画認可申請決定。 リラ・ポート来場者50万人達成。
◇ 17年(2005) 2月	もんじゅのナトリウム漏えい対策に係る工事計画了解。
◇ 17年(2005) 3月	愛発小中学校 最後の卒業式 21年の歴史に幕。
◇ 17年(2005) 4月	北・南公民館に民間人材を登用。 市立敦賀病院北診療棟竣工式。
◇ 17年(2005) 5月	遊行のお砂持ち 11年ぶりに行われる。
◇ 17年(2005) 6月	敦賀市産業団地調印式(㈱アイクーポンプラストと契約(進出企業第1号))
◇ 17年(2005) 9月	敦賀市男女共同参画都市宣言。
◇ 17年(2005) 10月	原子力安全基盤機構が福井事務所を設置。 第20回国民文化祭「ふくい2005が開幕。敦賀市では「邦楽の祭典」、「能楽の祭典」、「俳句大会」、「華のフェスティバル」などを行う。
◇ 17年(2005) 11月	敦賀インターに大型歓迎塔を設置。
◇ 17年(2005) 12月	北陸新幹線南越～敦賀間工事実施計画認可申請。
◇ 18年(2006) 1月	敦賀市産業団地調印式(㈱巴川ファイブコーティング(現㈱TFC)と契約(進出企業第2号))
◇ 18年(2006) 3月	葉原小学校閉校式を開催。 第4次敦賀市行政改革大綱を策定。
◇ 18年(2006) 4月	市民活動支援室が男女共同参画センターに開設。 東浦公民館(五幡)完成。
◇ 18年(2006) 7月	みなと観光交流促進プロジェクトに敦賀港が選ばれる。
◇ 18年(2006) 8月	AEDを市の公共施設及び市立小中学校に配備。
◇ 18年(2006) 9月	遊敦塾がスタート。
◇ 18年(2006) 10月	JR新疋田駅が完成。 敦賀高校創立100周年記念式典を開催。 JR湖西線・北陸線直流化開業。つるが海道浪漫2006、つるが観光物産フェア等多数の直流化開業イベントが催される。
◇ 18年(2006) 12月	市立敦賀病院第3次整備事業完了。
◇ 19年(2007) 3月	リラ・ポート入浴者100万人達成。 赤崎最終処分場が完成。 敦賀市第5次総合計画第3期基本計画を策定。
◇ 19年(2007) 4月	公立幼稚園、小学校、中学校が2学期制試行を実施。 つるがFM・ハーバーステーション開局。 河瀬一治氏第20代敦賀市長に就任。
◇ 19年(2007) 6月	敦賀～釜山港間定期航路が1年ぶりに週1便体制復活。
◇ 19年(2007) 7月	献血運動推進全国大会のため、皇太子殿下が来敦。 循環型社会を目指した三者協定を締結。(敦賀市・福井県民生協同組合・敦賀市消費者連絡協議会)
◇ 19年(2007) 11月	市制施行70周年記念式典を開催。 エネルギー連携大学拠点化構想が策定される。

年代(西暦)	事 項
平成20年(2008) 1月	敦賀市防災センター完成。
◇ 20年(2008) 3月	入道の港 敦賀ムゼウム開館。
◇ 20年(2008) 4月	西福寺建造物が国の重要文化財に指定。
◇ 20年(2008) 9月	敦賀港鞠山地区の「多目的国際ターミナル」が一部供用開始。
◇ 20年(2008) 11月	国の名勝「柴田氏庭園」が敦賀市に寄附される。 国道8号線敦賀バイパスが全線開通。
◇ 21年(2009) 2月	敦賀～釜山定期コンテナ航路が増便。週3便体制に。
◇ 21年(2009) 3月	市内のスーパー、ドラッグストアなどで一斉にレジ袋有料化。 敦賀鉄道資料館がオープン。 木崎保育園落成式。
◇ 21年(2009) 4月	敦賀水産卸売市場が新しくオープン。
◇ 21年(2009) 5月	皇室献穀粟 27年ぶりに敦賀で奉耕。
◇ 21年(2009) 8月	敦賀港開港110周年記念行事の開催。
◇ 21年(2009) 10月	「奥の細道」敦賀サミットの開催。
◇ 21年(2009) 11月	主要地方道佐田竹波敦賀線「馬背峠トンネル」が開通。
◇ 21年(2009) 12月	市内路線バスをコミュニティバスに一本化。
◇ 22年(2010) 2月	日本原子力発電㈱敦賀発電所1号機の40年超え運転について、6年間の運転延長を了承。 第82回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校ベスト8進出。 APECジュニアフォーラムを敦賀市で開催。 敦賀西小学校グラウンドから敦賀城の一部とみられる礎石などが出土したと発表。
◇ 22年(2010) 4月	市立博物館が「旧大和田銀行本店」として県文化財に指定される。
◇ 22年(2010) 5月	大町田遺跡から古墳時代の絵画土器片が出土。 高速増殖原型炉「もんじゅ」が14年5ヶ月ぶりに運転再開。
◇ 22年(2010) 6月	APECエネルギー大臣会合記念事業開催。
◇ 22年(2010) 8月	敦賀港が全国の重要港湾(103港)の中から「重点港湾」(43港)に選ばれる。 防災情報受信機(防災ラジオ)の市民への貸与開始。 第6次敦賀市総合計画基本構想を策定。 台風9号が観測史上初、敦賀市付近に直接上陸。 敦賀港鞠山地区多目的国際ターミナルが全面供用開始。 中郷公民館が落成。
◇ 22年(2010) 11月	敦賀市農産物直売所「ふるさと夢市場」オープン。
◇ 23年(2011) 1月	計測開始以来初めて地下水位低下警報を発令。 大雪により交通網がまひ。敦賀市雪害対策本部を設置(積雪78cm)。
◇ 23年(2011) 2月	市議会3月定例会で、平成21年度市歳入歳出決算が不認定となる。決算不認定は43年ぶり。
◇ 23年(2011) 3月	東日本大震災の被災地へ救援物資を搬送。被災者救援のため医師、看護師らが若手県陸前高田市へ出発。 西浦児童館休館式。
◇ 23年(2011) 4月	敦賀美方消防組合の敦賀・美浜・三方消防団に初の女性団員が誕生。 入道の港 敦賀ムゼウム入館者5万人達成。 河瀬一治氏第21代敦賀市長に就任。 被災地支援のため宮城県山元町へ保健師を派遣。 第6次敦賀市総合計画前期基本計画答申。
◇ 23年(2011) 6月	危機管理監として木村学氏が副市長に就任。
◇ 23年(2011) 8月	被災地支援のため宮城県石巻市へ市職員を派遣。 国際交流員としてイスラエルからミハル・ハダド氏が着任。 リラ・ポート入浴者200万人達成。 第6次敦賀市総合計画実施計画策定。
◇ 23年(2011) 9月	金ヶ崎緑地沿岸でジンベエザメが発見され多くの人で賑わう。 台風15号の影響で井の口川が増水。敦賀市で初めての避難勧告を「荻生野・萩野町」に発令。 敦賀市認知症高齢者及び障がい者徘徊等ネットワーク協議会設立。
◇ 23年(2011) 10月	敦賀港が「国際フェリー・国際RORO船」分野で日本海側拠点港に選定される。
◇ 23年(2011) 11月	北陸新幹線敦賀までの着工認可方針決定。
◇ 23年(2011) 12月	福井大学附属国際原子力工学研究所が完成。 県内の全ての原子力発電所が停止。
◇ 24年(2012) 2月	新和さみどり保育園が完成。 新和保育園・和久野保育園開園式。
◇ 24年(2012) 4月	敦賀市教育委員会独自教育カリキュラム「敦賀スタンダード」完成。

年代(西暦)	事 項
平成24年(2012) 4月	杵見児童クラブが完成。 舞鶴若狹自動車道「敦賀南スマートIC(仮称)」の連結が許可される。 敦賀消防署消防訓練センターが完成。 敦賀西小学校総合落成式。
◇ 24年(2012) 5月	北陸新幹線金沢・敦賀間が着工認可される。
◇ 24年(2012) 6月	中池見湿地がラムサール条約湿地に登録される。
◇ 24年(2012) 7月	敦賀・長浜間鉄道開通130周年などを記念した「つるが「鉄道と港」フェスティバル」が開催される。 市立博物館(旧大和田銀行本店)が建物修復工事のため休館。
◇ 24年(2012) 8月	ロシア・ナホトカ市長が来敦し姉妹都市締結30周年を記念した共同宣言に調印。 若手県大相町からの災害廃棄物の試験焼却を実施。 粟野子育て支援センターが完成。
◇ 24年(2012) 10月	中国との定期航路が6年ぶりに復活。 JR敦賀駅のバリアフリー化工事が完成。 若手県大相町の災害廃棄物の量が大幅に減少したことを受けて、敦賀市の受け入れを中止。 敦賀短期大学で最後の卒業式と閉学式。27年の歴史に幕。 敦賀市子ども発達支援センター開所式。 敦賀市立看護大学設置認可申請書を提出。 第85回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校がベスト4に進出。
◇ 24年(2012) 11月	白木区の「門ヶ崎」を市文化財(名勝)に指定。
◇ 24年(2012) 12月	日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機直下の破砕帯が、原子力規制委員会から「耐震設計上考慮する活断層」と評価される。
◇ 25年(2013) 1月	産業団地に「ナ・デックスプロダクツ」の研究開発施設が完成。
◇ 25年(2013) 3月	敦賀市地域防災計画を改定。 2018年福井国体の開催が内定。 世界少年野球大会福井大会が開催。 敦賀まつり カルネバル大行進に東京ディズニーリゾートスペシャルパレードが登場。 台風18号の影響で市内全域に「土砂災害に関する避難勧告」を発令。福井地方気象台が運用後初の「大雨特別警報」を発表。
◇ 25年(2013) 4月	高木毅衆議院議員が国土交通副大臣に就任。 博物館通り「テナントミックス」の3店舗がオープン。歴史的な街並みの整備を行う。 敦賀市立看護大学が設置認可。 産業団地に日本ゼオン㈱の新工場が完成。
◇ 25年(2013) 5月	県建設のコンテナ貨物荷さばき施設「鞠山南コンテナ・フレート・ステーション(CFS)」が完成。 敦賀港の年間国際コンテナ貨物取扱量が3万TEUに達し、過去最高を記録。
◇ 25年(2013) 6月	入道の港 敦賀ムゼウム入館者10万人達成。 奈良県の4市と原子力災害時における敦賀市民の県外広域避難に関する協定を締結。
◇ 25年(2013) 7月	西浦中学校休校。 敦賀市立看護大学開学。 敦賀駅交流施設「オルパーク」オープン。
◇ 25年(2013) 8月	「命のビザ」で敦賀港に上陸したレオ・メラメド氏が73年ぶりに敦賀を再訪。 舞鶴若狹自動車道(若狹さとうみハイウェイ)が全線開通。
◇ 25年(2013) 9月	敦賀港イルミネーション「ミライエ」開催。 北陸新幹線の金沢敦賀間の開業3年前倒しが正式決定。 常宮小学校・西浦小学校休校。
◇ 25年(2013) 10月	第87回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校が北陸勢初優勝。 淵上隆信氏第22代敦賀市長に就任。 日本原子力発電㈱敦賀発電所1号機が運転を終了。
◇ 25年(2013) 11月	市道西浦1号線暫定供用開始。 市立博物館リニューアルオープン。 2018年福井国体の開催が正式決定。 敦賀駅前広場が竣工、供用開始。 復興大臣に高木毅衆議院議員就任。 敦賀赤レンガ倉庫リニューアルオープン。 原子力規制委員会が文部科学大臣に高速増殖原型炉もんじゅの運営主体の変更を勧告
◇ 25年(2013) 12月	敦賀市グラウンド・ゴルフ場「リラ・グリーン」オープン。 第6次敦賀市総合計画後期基本計画(敦賀市再興プラン)策定。

年代(西暦)	事 項
平成28年(2016) 9月	愛発舟川の里が完成。 敦賀市教育振興基本計画策定。
◇ 28年(2016) 10月	氣比神宮境内が国名勝「おくのほそ道の風景地」に指定される。
◇ 28年(2016) 11月	新松原公民館が完成。
◇ 28年(2016) 12月	原子力関係閣僚会議において高速増殖原型炉もんじゅ廃炉措置方針の決定。
◇ 29年(2017) 2月	敦賀市産業団地(荻生野)全15区画の分譲完了。 市立博物館(旧大和田銀行本店本館)が国の重要文化財に指定される。
◇ 29年(2017) 3月	敦賀市立看護専門学校で最後の卒業式と閉校式。23年の歴史に幕。 舞鶴若狹自動車道の敦賀南スマートインターチェンジが開通。 「キッズパークつるが」オープン。 国土交通省から「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定される。
◇ 29年(2017) 4月	敦賀市を含めた11市町が文化庁に申請していた「北前船寄港地・船主集落」が日本遺産に認定される。
◇ 29年(2017) 8月	台風5号の影響で、笙の川の水位が最大3.69mに達し、敦賀市初の避難指示(緊急)を発令。
◇ 29年(2017) 9月	海外大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が敦賀港に初寄港。
◇ 29年(2017) 11月	市制施行80周年記念式典を開催。
◇ 29年(2017) 12月	氣比神宮大鳥居保存修理完成。





敦賀市勢要覧 2018

編集・発行：敦賀市 〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL 0770-21-1111(代)
FAX 0770-22-6220
URL <http://www.city.tsuruga.lg.jp/>
mail his yokouhou@ton21.ne.jp